



ご注意 $\left[\right]$

(1)本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。

(2)本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。

(3)本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど お気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。

(4)運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- (5)ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、 または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとし ます。
- (6)本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。 (7)Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (8)DVCPRO HD は、パナソニック株式会社の商標です。

(9)HDV および、HDV ロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。

(10)その他、商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

💷 表記について

■本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

- ■本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- ■本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い 操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
- ■本書では、T2のシステムを意味する場合、ワークステーションと表記します。

△ 警告

▲ ●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に てんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでに されたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした 経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前 に必ず医師と相談してください。

> T2 User Manual (SP2) -ワークステーションモード編-June 14, 2010 Copyright © 2009-2010 Thomson Canopus Co., Ltd. All rights reserved.

> > T2 — User Manual (SP2) — ワークステーションモード編 —

目 次

注意事項	7
マイクロソフト ソフトウェア ライヤンス条項:	7
Windows XP Embedded and Windows Embedded Standard Runtime	7
セットアップ	15
概要	15
特 長	15
各部の名称と機能	16
フロントパネル	16
操作ボタン	17
リアパネル	18
アナログオーディオ入力部	19
R1入力部	19
P1/P2出力部	20
起動・終了	21
起 動	21
ワークステーションモードへの切り替え	22
終了	22
本体の設定	23
システム設定	23
ハードウェア設定画面	23
ネットワーク-1/ネットワーク-2設定画面	24
ネットワーク-3設定画面	25
FTPタブ	26
FTPサーバー設定画面	27
その他画面	28
R1チャンネル設定	30
入力設定画面	30
タイムコード&リモート設定画面	31
P1/P2チャンネル設定	32
ビデオ設定画面	32
モニター&リモート設定画面	33
画質調整画面	34
転送設定	35
GPI入出力設定	36
GPI入力設定画面	36
GPI出力設定画面	37
ジョグ/シャトル設定	38

リーク人テーションセート	39
概 要	39
画面構成	39
メニューバー	40
システムメニュー	40
オプションメニュー	40
ヘルプメニュー	40
ステータスバー	41
キーボードショートカット画面	42

マウスカスタマイズ画面	44
ビン/転送画面表示部	45
ビンタブ	45
ブラウズタブ	46
ごみ箱タブ	47
検索タブ	48
検索画面	49
ビンフォルダ右クリックメニュー	50
ブラウズ画面右クリックメニュー	51
ブラウズ画面リムーバブルメディア右クリックメニュー	52
ごみ箱 - フォルダ右クリックメニュー	52
検索結果フォルダ右クリックメニュー	53
転送画面	54
インポート画面	55
エクスポート面面	56
コンテンツ表示部	57
アイコン表示	58
フンテンツの選択	58
コンテンツの操作	58
コンテンツのプレビュー	59
コンテンツのペアリング (同期設会)	59
インポートメニュー	60
インホートメニュー	60
エノスホートメーム	61
町個ノーエー	62
ブラウブ面面 リノーバブルメディアナクリックメニュー	64
アノワス回回 リムーバノルスノイノロノリソクスームー	64 65
この相 = クリクノ、ノレイリストロクリククメニュー	63
チャンテルキーが	11
チャンネル表示部	66
チャンネル表示部	66 67
チャンネル表示部 3ch表示	66 67 67
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル - クリップ再生モード D1/D2チャンネル - プレイリスト再生エード	66 67 67 68
チャンネル表示部 3ch表示 Rl チャンネル Pl/P2 チャンネル - クリップ再生モード $Pl/P2 チャンネル - プレイリスト再生モード$	66 67 67 68 68
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル - クリップ再生モード P1/P2チャンネル - プレイリスト再生モード lch表示 - レコーダーチャンネル	66 67 67 68 68 69
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル - クリップ再生モード P1/P2チャンネル - プレイリスト再生モード 1ch表示 - レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビ 東京部	 66 67 67 68 68 69 69 70
チャンネル表示部 3ch表示 Rlチャンネル Pl/P2チャンネル - クリップ再生モード Pl/P2チャンネル - プレイリスト再生モード lch表示 - レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 和中にドレン朝	 66 67 68 68 69 69 70 71
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル - クリップ再生モード P1/P2チャンネル - プレイリスト再生モード 1ch表示 - レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部	 66 67 68 68 69 69 70 71 71
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル - クリップ再生モード P1/P2チャンネル - プレイリスト再生モード 1ch表示 - レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部	 66 67 67 68 69 69 70 71 71 72
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル - クリップ再生モード P1/P2チャンネル - プレイリスト再生モード 1ch表示 - レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部	 66 67 67 68 69 69 70 71 71 72 72
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル - クリップ再生モード P1/P2チャンネル - プレイリスト再生モード Ich表示 - レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 RecモードとRec機能の対応	 66 67 67 68 69 69 70 71 71 72 73
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル - クリップ再生モード P1/P2チャンネル - プレイリスト再生モード lch表示 - レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 RecモードとRec機能の対応 lch表示 - クリップ再生チャンネル	 66 67 67 68 69 69 70 71 71 72 73 74
チャンネル表示部 3ch表示 Rlチャンネル Pl/P2チャンネル - クリップ再生モード Pl/P2チャンネル - プレイリスト再生モード lch表示 - レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 情報表示部 RecモードとRec機能の対応 lch表示 - クリップ再生チャンネル ステータス表示部	 66 67 68 69 69 70 71 71 72 73 74 75
チャンネル表示部	 66 67 68 69 69 70 71 71 72 73 74 75 76
チャンネル表示部	 66 67 68 69 69 70 71 71 72 73 74 75 76 77
チャンネル表示部	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 77
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル - クリップ再生モード P1/P2チャンネル - プレイリスト再生モード 1ch表示 - レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 RecモードとRec機能の対応 1ch表示 - クリップ再生チャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 プレビュー表示部 プレビュー表示部 プレビュー表示部 プレビュー表示部 プレビュー表示部 プレビュー表示部 アレビュー表示部 アレビュー表示部 た	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78
チャンネル表示部	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79
チャンネル表示部	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 79
チャンネル表示部 3ch表示 Rlチャンネル P1/P2チャンネル P1/P2チャンネル アレクリスト再生モード Ich表示 レコーダーチャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 RecモードとRec機能の対応 Ich表示 フレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 「情報表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 最市本式 アレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 最市 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 局報表示部 プレビュー表示エリア右クリックメニュー ビンからクリップをロードする 録画中クリップをロードする(追っかけ再生)	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 79 79
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル P1/P2チャンネル プレア2チャンネル プレア2チャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 RecモードとRec機能の対応 lch表示 lch表示 クリップ再生チャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 読録画中クリップをロードする 録画中クリップをロードする(追っかけ再生) Mark IN/OUT位置の調整	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 79 79 79 79
チャンネル表示部 3ch表示 Rlチャンネル P1/P2チャンネル クリップ再生モード P1/P2チャンネル フレクチャンネル プレグシャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 RecモードとRec機能の対応 lch表示 フレジュー表示部 プレビュー表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 「情報表示部 プレビュー表示エリア右クリックメニュー ビンからクリップをロードする 録画中クリップをロードする(追っかけ再生) Mark IN/OUT位置の調整 同期再生モード	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 79 80
チャンネル表示部 3ch表示 Rlチャンネル P1/P2チャンネル クリップ再生モード P1/P2チャンネル フレジーキャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 RecモードとRec機能の対応 lch表示 クリップ再生チャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 情報表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 情報表示部 プレビュー表示エリア右クリックメニュー ビンからクリップをロードする 録画中クリップをロードする(追っかけ再生) Mark IN/OUT位置の調整 同期再生モード リムーバブルドライブからの直接再生	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 79 80 81
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル クリップ再生モード P1/P2チャンネル アレジェーネッシネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 RecモードとRec機能の対応 lch表示 クリップ再生チャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 酸定ボタン部 情報表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 プレビュー表示エリア右クリックメニュー ビンからクリップをロードする 録画中クリップをロードする(追っかけ再生) Mark IN/OUT位置の調整 同期再生モード リムーバブルドライブからの直接再生 静止画ファイルのインボート	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 79 79 80 81 82
チャンネル表示部 3ch表示 R1チャンネル P1/P2チャンネル クリップ再生モード P1/P2チャンネル プレビキャンネル ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 アレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 ことれ表示 アレビュー表示部 ジンジャークス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 情報表示部 設定ボタン部 操作ボタン部 同期再生 ビンからクリップをロードする(追っかけ再生) Mark IN/OUT位置の調整 同期再生モード リムーバブルドライブからの直接再生 静止画ファイルのインポート lch表示 lch表示	 66 67 68 69 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 79 79 80 81 82 83

	05
ノレビュー衣小部	85
設定ボタン部	85
操作ボタン部	86
情報表示部	87
イベントリスト表示部	88
イベントリスト右クリックメニュー	89
プレビュー表示エリア右クリックメニュー	89
サムネイル上のアイコン	90
プレイリストの作成	90
同期再生モード	90
オーディオレベル	91
可変速再生	92
プロパティ画面	93
クリップのプロパティ	93
クリップ情報タブ	93
メディア情報タブ	94
タイムコードタブ	95
プレイリストのプロパティ	96
プレイリスト情報タブ	96
タイムコードタブ	97
全イベントタブ	98
イベントのプロパティ	100
イベント情報タブ	100
GPIタブ	101
スタートエフェクトタブ	102
エンドエフェクトタブ	103
ログレベル設定画面	104
ログ画面	105
	-00

APPENDIX

DIX	
T2 ハードウェア仕様	
解像度一覧	
GPI 入出力ピン	
Keyboard Shortcuts	
主要ショートカットキー配置	
ショートカットキー一覧	
ファイルインポート対応フォーマット一覧表	

T2 — User Manual (SP2) — ワークステーションモード編 —



マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項:

Windows XP Embedded and Windows Embedded Standard Runtime

本ライセンス条項は、お客様とトムソン・カノープス株式会社との契約 を構成します。以下のライセンス条項を注意してお読みください。これ らのライセンス条項は本デバイスに含まれる本ソフトウェアに適用され ます。本ソフトウェアには、本ソフトウェアが記録された別の媒体も含 まれます。

本デバイスのソフトウェアには、マイクロソフトまたはその子会社から ライセンス許諾されたソフトウェアが含まれています。

また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト製品にも適用されるものとします。

- 更新プログラム
- 追加ソフトウェア
- インターネットベースのサービス
- サポート サービス

ただし、これらの製品に別途ライセンス条項が付属している場合は、当 該ライセンス条項が適用されるものとします。お客様がマイクロソフト から更新プログラムまたは追加ソフトウェアを直接入手された場合、ト ムソン・カノープス株式会社ではなく、マイクロソフトが当該更新プロ グラムまたは追加ソフトウェアを許諾します。

以下に説明するように、一部の機能を使用することにより、インターネ ットベースのサービスのために特定のコンピュータ情報を送信すること にお客様が同意されたものとします。

本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同 意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合、本ソフ トウェアを使用または複製することはできません。この場合、トムソ ン・カノープス株式会社に問い合わせて、お支払いいただいた金額の払 戻しに関する方針を確認してください。 お客様が本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以 下が許諾されます。

1. 使用に関する権利。

お客様は、本ソフトウェアを取得したデバイスで本ソフトウェアを使 用できます。

- 2. 追加のライセンス条件および追加の使用権。
 - a. 固有の使用。トムソン・カノープス株式会社は、本デバイスを特定 の目的で使用するように設計しています。お客様は当該使用目的に 限り本ソフトウェアを使用できます。
 - b. その他のソフトウェア。お客様は、他のプログラムが以下の条件を 満たす場合に限り、本ソフトウェアで他のプログラムを使用でき ます。
 - 製造業者の固有のデバイス使用目的を直接サポートする。
 - システムユーティリティ、リソース管理、またはウイルス対策
 や類似する保護対策を提供する。

コンシューマまたはビジネスタスクやプロセスを提供するソフト ウェアを本デバイスで実行することはできません。該当するソフ トウェアには、電子メール、ワード プロセッサ、表計算、データ ベース、スケジュール作成、および家計簿ソフトウェアが含まれ ています。本デバイスは、ターミナル サービス プロトコルを使用 して、サーバーで実行されるこれらのソフトウェアにアクセスで きます。

- c. デバイス接続。
 - お客様は、ターミナルサービスプロトコルを使用して、電子 メール、ワードプロセッサ、スケジュール作成や表計算などの ビジネスタスクやプロセスソフトウェアを実行する別のデバイ スに本デバイスを接続することができます。
 - お客様は、最大10台のデバイスに本ソフトウェアへのアクセスを許可し、以下を利用することができます。
 - ファイルサービス
 - プリントサービス
 - インターネットの情報サービス
 - インターネット接続共有サービスおよびテレフォニーサー ビス

この10台という制限は、「マルチプレキシング」または接続数を プールするその他のソフトウェアもしくはハードウェアを介し本ソフ トウェアに間接的にアクセスするデバイスにも適用されます。お客様 は TCP/IPを介していつでも無制限に受信できます。

- 3. 使用許諾の適用範囲。本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、 販売されるものではありません。本契約は、お客様に本ソフトウェア を使用する限定的な権利を付与します。トムソン・カノープス株式会 社およびマイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用 法によりこの権利を超越した権利が与えられる場合を除き、お客様は 本契約書で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用する ことができます。お客様は、本ソフトウェアに組み込まれた使用方法 を制限する技術的制限に従うものとします。詳細については、本ソフ トウェアのマニュアルを参照するか、トムソン・カノープス株式会社 にお問い合わせください。上記の制限にもかかわらず、法律上許容さ れる範囲において、以下の行為は一切禁止されています。
 - 本ソフトウェアの技術的な制限を回避する方法で利用すること
 - 本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること
 - 本契約書に指定される数を超えて本ソフトウェアの複製を作成すること
 - 第三者が複製できるように本ソフトウェアを公開すること
 - 本ソフトウェアをレンタル、リース、または貸与すること
 - 本ソフトウェアを商用ホスティング サービスで使用すること

本契約書で定められている場合を除き、任意のデバイス上で本ソフ トウェアにアクセスする権利は、当該デバイスにアクセスするソフ トウェアまたはデバイスに関するマイクロソフトの特許またはその 他の知的財産権を行使する権利をお客様に付与するものではありま せん。

お客様は、リモート デスクトップなどのリモート アクセス技術を使 用して、別のデバイスから本ソフトウェアにリモートアクセスするこ とができます。他のソフトウェアにアクセスするプロトコルの使用に 必要なライセンスの取得にはお客様が責任を負うものとします。

- リモート ブート機能。トムソン・カノープス株式会社がデバイス において本ソフトウェアのリモート ブート機能を有効にしている 場合、お客様は以下の操作ができます。
 - (i) 本ソフトウェアの複製1部をお客様のサーバーにインストー ルして、ライセンス取得済みデバイにリモートブートプロセ スの一環として展開するためのみにRemote Boot Installation Service (RBIS)ツールを使用する。
 - (ii) リモート ブート プロセスの一環として本ソフトウェアをデバ イスに展開するためのみにRemote Boot Installation Service を使用する。
 - (iii) 本ソフトウェアをライセンス取得済みデバイにダウンロード して、ライセンス取得済みデバイスで使用する。

詳細については、本ソフトウェアのマニュアルを参照するか、ト ムソン・カノープス株式会社にお問い合わせください。

- インターネットベースのサービス。マイクロソフトは、本ソフト ウェアと共にインターネットベースのサービスを提供します。マ イクロソフトは随時このサービスを変更または中止できるものと します。
- a. インターネットベースのサービスに関する同意。本ソフトウェア には、以下に説明するインターネットを経由してマイクロソフトの コンピュータシステムに接続する機能が含まれます。接続が行われ る際、通知が行われない場合があります。これらの機能を解除した り、使用しないことも選択できます。これらの機能に関する詳細に ついては、以下のWebサイトをご参照ください。

http://www.microsoft.com/windowsxp/downloads/updates/sp2/ docs/privacy.mspx

これらの機能を利用することで、お客様はマイクロソフトがこれらの 情報を収集することに同意されたものとします。マイクロソフトはこ れらの情報を利用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりする ことはありません。

- b. コンピュータ情報。以下の機能はインターネットプロトコルを使用しており、お客様のIPアドレス、オペレーティングシステムの種類、ブラウザの種類、使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、ならびに本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのコンピュータ情報を適切なシステムに送信します。マイクロソフトは、お客様にインターネットベースの複数のサービスを提供するためにこれらの情報を利用します。
 - Webコンテンツ機能。本ソフトウェアには、関連するコンテン ツをマイクロソフトから取得し、お客様に提供する機能が含ま れます。コンテンツを提供するために、これらの機能は、お客 様が使用しているオペレーティングシステムの種類、本ソフト ウェアの名称およびバージョン、本ソフトウェアをインストー ルしたデバイスのブラウザの種類および言語コードをマイクロ ソフトに送信します。この機能の例として、クリップアート、 テンプレート、オンライントレーニング、オンラインアシスタ ンス、およびAppshelpが含まれます。これらの機能は、起動 しない限り動作せず、お客様は、これらの機能を解除すること も、使用しないことも選択できます。

 - Auto Root Update。Auto Root Update機能は信頼できる認証 機関のリストを更新します。Auto Root Update機能は解除する ことができます。
 - Windows Media Player。お客様が Windows Media Playerを 使用すると、マイクロソフトに対して以下が確認されます。
 - お客様の地域において利用可能なオンライン音楽サービス

- Windows Media Playerの最新バージョン
- Codec(コンテンツの再生に必要なCodecがデバイスにない場合)。お客様は、この機能を解除することができます。詳細については、http://microsoft.com/windows/ windowsmedia/mp10/privacy.aspx をご参照ください。
- Windows Media Digital Rights Management。コンテンツ所 • 有者は、著作権を含む知的財産権を保護する目的で、Windows Media Digital Rights Management (WMDRM) 技術を使用 しています。本ソフトウェアおよび第三者のソフトウェア は、WMDRMで保護されたコンテンツを再生、複製する際に WMDRMを使用します。本ソフトウェアがコンテンツを保護で きない場合、コンテンツ所有者がマイクロソフトに対して、保 護されたコンテンツをWMDRMを使用して再生または複製す る本ソフトウェアの機能を無効にするよう要請することがあり ます。無効にされた場合も、その他のコンテンツは影響を受け ません。保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードす る際、お客様はマイクロソフトがライセンスに失効リストを含 めることに同意したものとします。コンテンツ所有者は、お客 様がこれらのコンテンツにアクセスする前に、WMDRMのアッ プグレードを要請することがあります。WMDRMを含むマイク ロソフトソフトウェアは、アップグレードに先立ってお客様の 同意を求めます。アップグレードを行わない場合、お客様はア ップグレードが必要なコンテンツにアクセスできません。イン ターネットに接続する WMDRM機能は解除することができま す。この機能が解除されている場合、正規のライセンスを取得 している限り、コンテンツを再生することは可能です。
- c. インターネットベースサービスの不正使用。お客様は、これら のサービスにダメージを及ぼす可能性のある方法、または第三者 によるサービスの使用を妨げる方法で、これらのサービスを使用 することはできません。また、サービス、データ、アカウント、 またはネットワークへの不当なアクセスを試みるためにこれらの サービスを使用することは一切禁じられています。
- Windows Update Agent (Software Update Services とも呼ばれます)。 デバイスにインストールされた本ソフトウェアには、必要なサーバー コンポーネントがインストールされたサーバーにデバイスを接続して 更新プログラム (「Windows Update」) にアクセスできるようにした Windows Update Agent (「WUA」)機能が含まれています。Windows Update が付属するこのマイクロソフトソフトウェアライセンス条項 または他の EULA の免責に限らず、お客様は、デバイスにインストー ルする Windows Update について、マイクロソフトおよびその子会 社は保証を行わないことを認め、同意するものとします。
- 製品サポート。サポート方法については、トムソン・カノープス株式 会社にお問い合わせください。サポートの連絡先については本デバイ ス付属の文書をご参照ください。
- 6. バックアップ用の複製。お客様は、本ソフトウェアのバックアップ用 の複製を1部作成することができます。バックアップ用の複製は、お

客様が本ソフトウェアを本デバイスに再インストールする場合に限り 使用することができます。

- 7. ライセンス証明書(「Proof of License」または「POL」)。お客様が 本ソフトウェアを本デバイスにインストールされた状態、CD-ROM またはその他の媒体で入手された場合、本ソフトウェアが正当に許諾 されたものであることは、正規のマイクロソフト「Certificate of Authenticity」ラベルが正規の本ソフトウェアに付属していることを もって識別することができます。正規のラベルはデバイス上もしくは トムソン・カノープス株式会社のソフトウェア梱包に貼付されている 必要があります。ラベルが別途付属する場合は、無効とみなされます。 お客様が本ソフトウェアの使用許諾を受けていることを証明するため、 ラベルが貼付されたデバイスもしくは梱包材を保管してください。正 規のマイクロソフト ソフトウェアを識別する方法については、http:// www.howtotell.com をご参照ください。
- 8. 第三者への譲渡。お客様は、本ソフトウェアを、本デバイス、 Certificate of Authenticity ラベル、および本契約書と一緒にのみ、第三 者に直接譲渡することができます。譲渡の前に、本ソフトウェアの譲 受人は本ライセンス条項が、譲渡および本ソフトウェアの使用に適用 されることに同意しなければなりません。お客様は、バックアップ用 の複製を含む本ソフトウェアの複製を一切保持することができません。
- 第フォールトトレラント。本ソフトウェアは、フォールトトレラント ではありません。トムソン・カノープス株式会社は、本ソフトウェア を本デバイスにインストールし、本デバイスでの本ソフトウェアの実 行に責任を負います。
- 10.使用の制限。マイクロソフト ソフトウェアは不具合に対して自動的 に対応できる機能または性能を持たないシステムを対象にしています。 お客様は、万一誤作動した場合に人身傷害もしくは死亡につながる可 能性のあるデバイスまたはシステムでマイクロソフト ソフトウェア を使用することはできません。使用の制限には、原子力施設の操業、 航空機の航行、通信システム、および航空管制が含まれます。
- 11.本ソフトウェアの保証なし。本ソフトウェアは、何ら保証のない現状 有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供されます。本ソフトウェアの使 用から生じるリスクは、お客様が負うものとします。他の明示的な保 証または条件は規定いたしません。本デバイスもしくは本ソフトウェ アに関する保証は、マイクロソフトまたはその子会社が負うことはな く拘束されるものではありません。法律上許容される最大限において、 商品性、特定目的に対する適合性、非侵害性に関する黙示の保証につ いてトムソン・カノープス株式会社 およびマイクロソフトは一切責 任を負いません。
- 12.責任の制限。マイクロソフトおよびその子会社の責任は、250 米ドル (US\$250.00)を上限とする直接損害に限定されます。その他の損 害(派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、または付随的損害 を含みますがこれらに限定されません)に関しては、一切責任を負い ません。

この制限は、以下に適用されるものとします。

- 本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ (コードを含みます)または第三者のプログラムに関連した事項
- 契約違反、保証違反、無過失責任、または該当法で許可されている範囲の過失に関する主張

マイクロソフトがこのような損害の可能性について知らされていた場合 も制限が適用されるものとします。上記の制限は、一部の国では付随 的、派生的、およびその他の損害の免責、または責任の制限が認められ ないため、適用されない場合があります。

13.輸出規制。本ソフトウェアは米国および日本国の輸出に関する規制の 対象となります。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国 内法および国際法を遵守することに同意されたものとします。これら の法律には、輸出対象国、エンドユーザーおよびエンドユーザーによ る使用に関する制限が含まれます。詳細については www.microsoft. com/japan/exporting をご参照ください。 Section 1 — 注意事項

セットアップ

概要

T2は、入力1チャンネル・出力2チャンネルを持ち、HDの録画・再生を 同時に行うことが可能なデジタルデッキです。

前面部のジョグ/シャトルおよび、外部コントローラにより、可変速再生 を行うことができます。

特長

- 高画質な Canopus HQ Codec に対応しており、1920 × 1080 のフル解 像度、4:2:2 カラースペース、最大 200Mbps の高画質の素材を取り扱 うことができます。
- 当社製 EDIUS で編集した HQ 素材を、エンコードしなおすことなく、 そのまま再生することができます。
- 1入力、2出力の HD/SD-SDI を装備し、同時入出力が可能です。2 つの出力を完全に同期させた再生も可能です。
- RS-422A でのデッキコントロールに対応しています。
- GPIによる外部制御に対応しています。
- 7インチのタッチスクリーン LCD やジョグ / シャトルを搭載し、本体のみで プレイリスト作成などの操作が可能です。(フロントパネルモード)
- ディスプレイやキーボード、マウスを接続することで、フロントパネルと同等の操作をキーボード、マウスで行うことが可能です。(ワークステーションモード)
- QuickTime ※、Windows Mediaの各種フォーマットのファイルイン ポートに対応しています。

※コーデックの種類により対応していないものもあります。

各部の名称と機能

フロントパネル



タッチスクリーン LCD	T2 の画像情報を表示します。画面上の表示内容をタップす る事で T2 を操作することができます。
DVD-ROM ドライブ	DVD-ROM の映像・音声メディアファイルをインポートする場 合に使用します。 ※ DVD-Video の再生には対応していません。
電源スイッチ	T2 を起動 / 終了します。
USB 端子	USB 対応リムーバブル機器を接続します。
IEEE1394 端子	IEEE1394 対応リムーバブル機器を接続します。 ※ DV/HDV 機器の接続には対応していません。
ボリューム調整つまみ	ヘッドフォンのボリュームを調整します。
ヘッドフォン端子	ヘッドフォンを接続することができます。
ジョグ / シャトル	(次頁参照)
操作ボタン	(次頁参照)

操作ボタン



R1 ボタン	レコーダー画面をアクティブにします。		
P1 ボタン	コンテンツ再生画面1をアクティブにします。		
P2 ボタン	コンテンツ再生画面2をアクティブにします。		
Rew ボタン	1フレーム戻します。押し続けることで巻き戻しとなります。		
Play ボタン	再生を開始します。		
FF ボタン	1 フレーム送ります。押し続けることで早送りとなります。		
Stop ボタン	再生、録画を停止します。		
Rec ボタン	録画を開始します。		
Shuttle/Jog ボタン	ジョグ / シャトルを有効にします (VAR ボタンとの切り替え)。		
VAR ボタン	可変速再生を行います(コントロール画面を表示。Shuttle/ Jog ボタンとの切り替え)。		
ジョグ / シャトル	ジョグ再生、シャトル再生を行います。		
Rew ボタン+ Stop ボタン	クリップ再生時 直前の IN/OUT 点、またはクリップの先頭に移動します。 プレイリスト再生時 前のイベントへ移動します。		
FF ボタン+ Stop ボタン	クリップ再生時 次の IN/OUT 点、またはクリップの最後尾に移動します。 プレイリスト再生時 次のイベントへ移動します。		

リアパネル



電源入力端子(3 ピン)	電源ケーブルを使用して AC 電源に接続します。
主電源スイッチ	主電源の入 / 切を切り換えます。
アナログオーディオ入出力部	アナログオーディオの入出力に使用します。
マウス端子(PS/2)	マウスを接続する場合に使用します。
キーボード端子(PS/2)	キーボードを接続する場合に使用します。
シリアルポート	使用しません。
モニター端子	PC モニターを接続する場合に使用します。
USB(2.0)端子	キーボード、マウスなどを接続する場合に使用します。
LAN 端子	LAN ケーブルを接続します。
サウンド	使用しません。
R1 入力部	R1 チャンネルへの入力に使用します。
P1 出力部	P1 チャンネルからの出力に使用します。
P2 出力部	P2 チャンネルからの出力に使用します。
REF IN	REF 信号の入力に使用します。
GPI I/O	GPIの入出力に使用します。
 IEEE1394 端子	IEEE1394 対応機器を接続します。 ※ DV/HDV 機器の接続には対応していません。
MONITOR	オーディオモニターに使用します。
REMOTE RS422 端子	 R1、P1、P2 チャンネルのリモート制御に使用します。

アナログオーディオ入力部



R1 - CH1	R1 チャンネルへのオーディオ入力に使用します。(バランス入力)
R1 - CH2	XLR-3-31 × 2 (CH1 ~ 2)
P1 - CH1	P1 チャンネルのオーディオ出力に使用します。(バランス出力)
P1 - CH2	XLR-3-32 × 2 (CH1 ~ 2)
P2 - CH1	P2 チャンネルのオーディオ出力に使用します。(バランス出力)
P2 - CH2	XLR-3-32 × 2 (CH1 ~ 2)

R1入力部



LTC	LTC(タイムコード)の入力に使用します。
AES/EBU	デジタルオーディオ(AES/EBU)の入力に使用します。
CMPST	コンポジットの入力に使用します。
DVI-I	DVI-I の入力に使用します。(DVI、YPbPr 兼用)
SDI	SDI 入力(左側)、アクティブスルー(右側)に使用します。

P1/P2出力部

P1		AES/EBU	CMPST		SDI MONITOR
		AES/EBU	CMPST		SDI MONITOR
P2	HD/SD PLAYER		\bigcirc	O	

LTC	LTC(タイムコード)の出力に使用します。
AES/EBU	デジタルオーディオ(AES/EBU)の出力に使用します。
CMPST	コンポジットの出力に使用します。
DVI-I	DVI-I の出力に使用します。(DVI、RGB、YPbPr 兼用)
SDI	SDIの出力に使用します。
MONITOR	モニタの出力(コンポジット)に使用します。

注意	YPbPr信号はDVI-I端子のアナログRGBピンから入出力します。 使用にあたってはアナログRGB信号用の変換コネクタケーブルを ご用意ください。

起動・終了 ^{起動}

T2を起動します。

1. 本体リアパネルの主電源スイッチをONにして、フロントパネルの電 源スイッチをONにします。

電源スイッチ



2. T2が起動し、タッチスクリーンLCDに3ch 表示画面が表示されます。



3ch 表示

ワークステーションモードへの切り替え

T2の起動直後は、フロントパネルモードで動作しています。ワークス テーションモードに切り替えるには、次の操作を行ってください。

- 1. 接続したPCモニター上に表示されている [システム] メニューで、[ワークス テーションモードに切替] を選択します。
 - ※再度フロントパネルモードに切り替えるには、タッチパネルスクリ ーンLCDをタップするか、PCモニター上に表示されている[シス テム]メニューで、[フロントパネルモードに切替]を選択してく ださい。

終 了

T2を終了します。

1. [システム] メニューの [終了] を選択します。

[システム] メニュー

יעםק ' זפ−ס	N(ネルモードに切替(F) ステーシュンモードに切替(W)	947 VTR 95-1	≜	7#ルタ 転送	📑 ହ 💷 🗙
3077	לגע(M)		•	E 759X	23-18 秋帝
8570	E)			Bin(1)	
		2−0 (n: -,-,-,-)# - 27 P 720x486 59.94i		Default	
		WT			
		ライブルコード開発			
		飛 巻: 00:00:00;00			
	Cur::: Bapsed:::	國定長總黨			
				Director de	
8	♥ ♥ ◀ ◀ ■ 🚺 ▷ ▷ ▷ ♥ ♥ 🛡 🖾			サムネイル	-Sifi 🙆
					Clip_01
P1		クリップ プレイリスト リモート	≜	982	00:00:14:20
		5/5/5; Clp_01	· •	THE REAL PROPERTY IN	2010/05/18 10:41:12 Clip_02
EINE	ALL CLAR	90:		Second Street	1440x1080 59.94 *
ループ		7-5 Out:		Reasonant I	2010/05/18 10:41:25
1520(100)	Contraction of the second s	展8:			Clip_03 1440x1080 59.94
	THE STREET	histo			00:00:14;15
		- ジジジパー++ ジジジ In: 00:03:36;13 フォーマット: 1440x1080			Clip_04
	Cur: 00:03:36;13 Remain: 00:00:14:19	59.94 がリップ Out: 00:03:51,03			1440x1080 59.94 00:00:08:17
	Q			CARDONNA .	2010/05/18 10:42:19
8	ଡ଼୶୕୲ୣ୵୰ୣୖ୰ୖ୲ୖ୰				Clip_05 1440x1080 59.94
					00:00:06;26
P2		0097 71/02F	≜		Clip_06
		5997: Op_12	°		1440x1080 59.94 00:00:06;25
		95:			2010/05/18 10:42:54
1-7		v-ym eddyr 7x10f gwyr			1440x1080 59.94
30 10					00:00:10;19 2010/05/18 10:43:23
				Transferrer 1	Clip_08
59.34		- クリック内容 クリック In: 01:09:23:15 フォーマット: 1440:1080		A STREET	1440x1080 59.94 00:00:16;20
	Cur: 00:09:23:15 Remain: 00:00:04:29	59,94 59/57 Out: 00:09:28;15		N 1	2010/05/18 10:44:08
	Q			A 14	1440x1080 59.94
6	᠙᠊᠊┦ [< ᡧ ◀ □ ▷ ▷ ▷ ▷] 			1/24 4.5#	-ト エクスポート 非紀
101表示				597)4488	22:43 15:11

2. 表示されるダイアログで [終了] を選択し、OKボタンをク リックします。T2の主電源をOFFにする場合は、画面表示が消えて シャットダウンが完了したのを確認後にリアパネルの主電源スイッチ をOFFに設定してください。

注意 本体の故障につながりますので電源の長押しや主電源での強制終 了は行わないでください。

本体の設定

ワークステーションモード起動後に表示される画面右上の設定ボタンを クリックすると、システム設定が表示されます。ご使用の接続環境に応 じて、設定を行ってください。



システム設定

ハードウェア設定画面

Configuration		×
Configuration ローク般 ーネットワーク-1 ーネットワーク-2 ーネットワーク-3 ーFTP その他 日 ー 入力設定 ータイムコード&リモート 日 ー ビデオ ーモニター&リモート 日 ー ビデオ ーモニター&リモート 日 ー ビデオ ーモニター&リモート 日 ー ビデオ ーモニター&リモート 日 ー ビデオ ーモニター&リモート 日 ー ビデオ ーモニター&リモート 日 ー ビデオ ーモニター&リモート 日 ー ビデオ ーモニター&リモート 日 ー ビデオ ーモニター&リモート 日 ー	同期信号: Internal ● P1: ● P2: ● 3値 HD 水平位相調整: 0 BB HD 水平位相調整: 0 BB SD 水平位相調整: 0 オーディオ基準レベル: ● -20 ● dB オーディオ入出力レベル: ● +4 ● dBu	×
 	オーディオ基準レベル: -20	间用

	[External]、[Input]、[Internal] の中から、同期信号を選択 します。下段には、信号の入力状況を表示します。
	P1 P1 チャンネルと同期がとれているかを表示します。
	P2 P2 チャンネルと同期がとれているかを表示します。
同期信号	3 値 HD 水平位相調整 HD3 値 REF を使用する場合に、数値を入力して REF 位相を 調整します。([External] 選択時のみ)
	BB HD 水平位相調整 HD REF として SD Black Burst REF を使用する場合に、数 値を入力して REF 位相を調整します。([External] 選択時のみ)
	BB SD 水平位相調整 SD REF として SD Black Burst REF を使用する場合に、数 値を入力して REF 位相を調整します。([External]選択時のみ)
オーディオ基準レベル	オーディオリファレンスレベル(Headroom)を設定します。
オーディオ入出力レベル	オーディオ入出力レベルを設定します。

T2 — User Manual (SP2) — ワークステーションモード編 —

ネットワーク-1/ネットワーク-2設定画面

■ 一般 Local Area Conn	
■ 一般 Local Area Conn	
	ection 1
	動的に取得する
ネットワーク-3 FTP 〇 次のIPアドレス	を使う:
■~RI 	
■ P1 デフォルトゲー	ウェイ:
… モニター&リモート … 画質調整 ● DNSサーバー(0アドレスを自動的に取得する
■-P2 ビデオ	バーのアドレスを使う:
した。 したのでは、 したのでは、 したので したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 し	
····•転送 ■··GPI 代替DNSサー	
デフォルト	OK キャンセル 適用

IP アドレスを自動的に取得 する	DHCP を使用して、IP アドレスを自動設定します。
次の IP アドレスを使う	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ を指定してローカルエリア接続を行います。 IP アドレス IP アドレスを指定します。 サブネットマスク サブネットマスクを指定します。 デフォルトゲートウェイ デフォルトゲートウェイを指定します。
DNS サーバーのアドレスを 自動的に取得する	DHCPを使用して、DNSサーバーアドレスを自動設定します。
次の DNS サーバーのアドレ スを使う	 優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーのアドレスを指定してローカルエリア接続を行います。 優先 DNS サーバー 優先 DNS サーバーのアドレスを指定します。 代替 DNS サーバー 代替 DNS サーバーのアドレスを指定します。

ネットワーク-3設定画面

Configuration		×
Configuration ■ - 一般 - ハードウェア - ネットワーク-1 - ネットワーク-2 - ネットワーク-2 - ネットワーク-2 - ネットワーク-3 - FTP - その他 ■ R1 - 入力設定 - タイムコード&リモート ■ P1 - ビデオ - モニター&リモート	ネットワーク ドライブ ドライブ フォルダ	×
□ 画質調整 = P2 □ - ビデオ □ - エニター&リモート □ - 画質調整 = GPI □ - 入力 □ - 光力 □ - 光力 □ - 光力 □ - ジョヴ/シャトル デフォルト	道加 の断 OK キャンセル 連用	

ネットワークドライブ	現在設定されているネットワークドライブの一覧を表示し ます。
追加ボタン	ネットワークドライブ設定画面を表示します。
切断ボタン	選択されているドライブに割り当てられているネットワーク のパスを切断します。

※ネットワークドライブの追加/削除はワークステーションモードでのみ 行えます。

FTPタブ

Configuration		×
■-一般 	FTP サーバー ユーザー名: ftpuser パスワード: ftppassword 同時クライアント接続数: 5 ピン(ルートディレクトリ指定の場合): Default 開始 停止	設定
デフォルト	ОК	キャンセル 適用

ユーザー名	設定済みの FTP サーバーに接続するためのユーザー名を表 示します。
パスワード	設定済みの FTP サーバーに接続するためのパスワードを表示します。
同時クライアント接続数	設定済みの FTP サーバーに同時に接続できる最大ユーザー 数を表示します。
ビン(ルートディレクトリ 指定の場合)	設定済みのルートディレクトリにアップロードされた素材を 格納するビンの名称を表示します。
開始ボタン	FTP サーバーを開始します。
停止ボタン	動作している FTP サーバーを停止します。
設定ボタン	FTP 設定画面を表示します。

FTPサーバー設定画面

FTP サーバー	>
ユーザー名:	ftpuser
パスワード:	ftppassword
同時クライアント接続数:	5
ビン(ルートディレクトリ指定の場合):	Default
	OK キャンセル

ユーザー名	設定済みの FTP サーバーに接続するためのユーザー名を設 定します。
パスワード	設定済みの FTP サーバーに接続するためのパスワードを設 定します。
同時クライアント接続数	設定済みの FTP サーバーに同時に接続できる最大ユーザー 数を設定します。
ビン(ルートディレクトリ 指定の場合)	設定済みのルートディレクトリにアップロードされた素材を 格納するビンを指定します。

その他画面

Configuration					×
■· 一般 ハードウェア	言語:	Japanese		1	
ネットワーク-1 	DFモード:	• DF	() NDF		
	プレイリスト自動スクロール:	⊙ ON	O OFF		
ー FTP ー <mark>その他</mark>	ープレビュー 更新間隔 ―				
■-R1 	更新モード:	Auto			
ータイムコード&リモート ■-P1	数値を大きくするとプレビュ とができます。デフォルト値	∟ーの更新間隙 [は、2です。	島が長くなり、CPU	J Usage を低くするこ	
ー・ビデオ ー・モニター & リモート	R1: 2🗘	フレーム	Ø7142-0	D更新を行う	
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	P1: 2	フレーム	Ø7181-0	D更新を行う	
ー・ビデオ ビデオ モニター&リモート 画質調整	P2 : 2 <mark>0</mark>	70-4	☑ Ϡνἕュ-α	D 更新を行う	
転送					
■-GPI 					
 デフォルト			ОК	キャンセル	適用

言語	表示言語を選択します。 ※表示言語の変更にはシステムの再起動が必要です。
DFモード	ドロップフレーム、ノンドロップフレームのどちらを使用す るかを選択します。 DF ドロップフレームを使用します。 NDF ノンドロップフレームを使用します。
プレイリスト自動スクロール	プレイリストのイベントリスト部の自動スクロールの ON/ OFF を設定します。

	 更新モード R1、P1、P2の各チャンネルのプレビューの更新間隔を設定することでT2のCPUに対する負荷を低減することができます。 ・ Manual手動でプレビュー更新間隔を設定します。選択するとR1、P1、P2の各チャンネルの更新間隔設定が可能となります。 ・ Auto自動でプレビュー更新間隔を設定します。
	R1 R1 チャンネルの更新間隔をフレーム数で設定します。数値を 大きくすることでプレビュー更新間隔が長くなります。初期 設定値では2フレームごとに更新されます。
	プレビューの更新を行う チェックを付けると、指定のフレーム間隔でのプレビュー更 新を行います。チェックを外した場合、プレビュー更新は行 いません。
プレビュー更新間隔	P1 P1 チャンネルの更新間隔をフレーム数で設定します。数値を 大きくすることでプレビュー更新間隔が長くなります。初期 設定値では2フレームごとに更新されます。
	プレビューの更新を行う チェックを付けると、指定のフレーム間隔でのプレビュー更 新を行います。チェックを外した場合、プレビュー更新は行 いません。
	P2 P2 チャンネルの更新間隔をフレーム数で設1定します。数値 を大きくすることでプレビュー更新間隔が長くなります。初 期設定値では2フレームごとに更新されます。
	プレビューの更新を行う チェックを付けると、指定のフレーム間隔でのプレビュー更 新を行います。チェックを外した場合、プレビュー更新は行 いません。

R1チャンネル設定

入力設定画面

Configuration			×
 一般 -ハードウェア -ネットワーク-1 -ネットワーク-2 -ネットワーク-3 -FT -その他 R1 -タイルコード&リチート 	ビデオ 入力端子: 入力フォーマット: アスペクト: セットアップレベル:	YPbPr 720x486 59.94i 16:9 0 ・ IRE ビーク補正	
■-P1 ビデオ モニター&リモート 画質調整 ■ P2 ビデオ ビデオ モニター&リモート 画質調整 転送 ■ GP1 入力	圧縮 フォーマット: 設定: オーディオ 入力端子: 入力フォーマット:	HQ HQ 150Mbps MAX Analog Hd 16bit 2ch	
ー 田7) ー ジョヴ/シャトル ー デフォルト		OK +v	ンセル 適用

ビデオ	 入力端子 ビデオ入力を選択します。 入力フォーマット ビデオ入力フォーマットを選択します。 アスペクト SD 入力の場合、アスペクト比を選択します。 セットアップレベル NTSC 時のセットアップレベル (黒レベル)を0IRE、7.5IRE から選択します。日本では0IRE、北米では7.5IRE が使用されます。 白ピーク補正 白ピーク補正を行う場合にチェックします。
圧縮	フォーマット 圧縮方式を選択します。 設定 HQの圧縮率を150Mbpsに制限したい場合にチェックします。
オーディオ	入力端子 記録するオーディオフォーマットをアナログ、AES/EBU (デジ タル)、SDI エンベデッドから選択します。 入力フォーマット 16bit 2ch で記録する場合にチェックします。

タイムコード&リモート設定画面

Configuration			×
Configuration ■ 一般 ーハードウェア ーネットワーク・1 ーネットワーク・2 ーネットワーク・3 ードP ー その他 ■ -R1 ー入力設定 ースパ設定 ■ -P1	タイムコード選択 ▼C(LTC) SDI(VITC) 記録タイムコード 外部 内部 - システム時刻 ●内部 - 開始TC指定 	00:00:00;00	×
- モニター&リモート - 画質調整 ■ P2 - ビデオ - モニター&リモート - 画質調整 - 転送 ■ - GPI - 一、公力 - 出力 - ジョヴ/シャトル デフォルト	アンシラリデータ記録 リモートプロトコル: AMP 接続 IPアドレス: チャンネル	O ON ● OFF BVW 0.0.0.0 Vtr1 OK ₹v2	ッセル

タイムコード選択	タイムコードの形式を TC(LTC)、SDI(VITC)から選択し ます。
記録タイムコード	録画時に使用するタイムコードを選択します。 外部 外部機器のタイムコードを使用します。 内部 – システム時刻 システム時刻を使用します。 内部 – 開始 TC 指定 開始時のタイムコードを数値で指定します。
アンシラリデータ記録	ON にすると VANC を記録します。
リモートプロトコル	リモートプロトコルを BVW、AMP から選択します。
AMP 接続	AMP 接続を行う場合に、IP アドレスおよびチャンネルを指定します。

P1/P2チャンネル設定

ビデオ設定画面

Configuration			×
Configuration	フォーマット: DVIオブション: 出力可能端子 SDI YPbPr (アスペクト: コンポーネントタイプ: セットアップレベル: ポーズ表示 アスペクト比変換: 自動再生モード:	1920x1080 59,941 None Composite DVI-D RGB 16:9 YPbPr 0 ・ IRE Field ・ Bars ・	×
デフォルト		OK キャンセル 適用	

フォーマット	ビデオ出力の解像度とフレームレートを選択します。
DVI オプション	DVI/RGB 出力フォーマットを使用する場合、使用する画面解 像度を選択します。
出力可能端子	出力可能な方式をハイライトして表示します。
アスペクト	アスペクト比を選択します。SD の場合、画面アスペクト比 を 4:3 もしくは 16:9 から選択します。
コンポーネントタイプ	DVI-I 端子から出力されるアナログ信号のタイプを選択します。
セットアップレベル	NTSC 時のセットアップレベル(黒レベル)を 0 IRE、7.5IRE から選択します。日本では 0 IRE、北米では 7.5IRE が使用 されます。
ポーズ表示	ポーズ時の表示モードを設定します。 Field 静止画をフィールド補間して表示します。映像は停止した状 態でなめらかに表示されます。 Frame トップフィールド、ボトムフィールドを交互に表示します。 映像がゆれて表示されます。
アスペクト比変換	Bars クリップのアスペクト比がチャンネルの設定と異なる場合に、 画面の上下、または左右に、黒いバーを表示します。 Crop クリップのアスペクト比がチャンネルの設定と異なる場合に、 画面の上下、または左右をトリミングして表示します。
自動再生モード	素材をロードした際の自動再生の ON/OFF を設定します。 ※ワークステーションモードでキーボードショートカットも しくはマウスカスタマイズを設定している場合は各カスタ マイズの設定が優先されます。

T2 — User Manual (SP2) — ワークステーションモード編 —

モニター&リモート設定画面

Configuration			×
Configuration ■ 一般 - ハードウェア - ネットワーク-1 - ネットワーク-2 - ネットワーク-3 - FTP - その他 ■ -R1 - 入力設定 - タイムコード&リモート ■ -P1 - ビデオ - モーター&リモート - 画質調整 ■ -P2 - ジデオ - ニッカー&リエート	モニター 出力 チャンネル: OSD: プレイリスト残りTC : リモートプロトコル:	P1 O ON O OFF ダカレントタイムコードを表示する 〕残り時間を表示する Event	×
ー 画質調整 - 一転送 ■ -GPI - 入力 - 一入力 - 一入力 - ジョヴ/シャトル デフォルト		OK ++v21/ 5	適用

	モニター出力に使用するチャンネルおよび、OSD の ON/ OFF を指定します。
	チャンネル モニター出力に使用するチャンネルを選択します。[P1]を選 択した場合は P1 のみ。[P2]を選択した場合は P1 もしくは P2 が選択できます。
モニター出力	OSD オンスクリーンスクリーンディスプレイの ON/OFF を選択し ます。
	カレントタイムコードを表示する チェックを付けると、オンスクリーンディスプレイでカレン トタイムコードを表示します。
	残り時間を表示する チェックを付けると、オンスクリーンディスプレイで残り時 間を表示します。(下記、プレイリスト残り TC 参照)
	プレイリストの残り時間の表示形式を設定します。
プレイリスト残り TC	Event イベント (クリップ / プレイリスト) の残り時間を表示します。
	Total プレイリスト全体に対する残り時間を表示します。
リモートプロトコル	リモートプロトコルを BVW、AMP から選択します。





Yゲイン	Y ゲインを調整します。(コンポジット、SD コンポーネント のみ)
Cゲイン	C ゲインを調整します。(コンポジット、SD コンポーネン トのみ)
色相	色相を調整します。(コンポジットのみ)
黒レベル	黒レベルを調整します。(コンポジット、SD コンポーネン トのみ)
振幅微調整	振幅微調整を調整します。(コンポジット、コンポーネント のみ)

転送設定

Configuration			×
■ 一般	クリップインボート設定 インボート時のフィールドオーダー(パ クリップインボート 設定(対応す) 対応するプロファイルと一致しない ズおよびスケーリング方法で取り込 サイズ: スケーリング:	WMV/QuickTime H.264): Auto ロファイル 外の場合) クリップをインボートするとき、ここで設定した みます。 1920x1080 Bars ・	.
- 四月前9至 FP2 - ビデオ - モニター&リモート - 画質調整 - 町通 GPI - 入力 - 出力 - ジョジノンマトル	静止画およびシーケンス静止」 静止画まなはシーケンス形式のホ ーマット、スケーリング方法、静止 フォーマット : スケーリング : 長さ(静止画) ;	画インボート設定 静止画をインボートするとき、ここで設定した 画の長さで取り込みます。 1920x1080 59.94i → Bars → 5 € 秒	57#
デフォルト		OK キャンセル	適用

クリップインポート設定	インポート時のフィールドオーダーを Auto、Progressive、 Top field first、Bottom field first から選択します。
クリップインポート設定 (対応プロファイル外の場合)	 T2 で対応するプロファイルと一致しないクリップをイン ポートする場合、ここで設定したサイズ/スケーリング方法 でインポートを行います。 サイズ 設定したサイズにスケーリングしてインポートします。 スケーリング サイズの項で設定したサイズと実際の素材のサイズが異なる 場合、以下の処理を行ってスケーリングします。 Bars設定したサイズと素材の長い方の辺を同じにし、 上下もしくは左右を黒帯表示します。 Crop設定したサイズと素材の短い方の辺を同じにし、 表示します。 Stretch
静止画およびシーケンス 静止画インポート設定	 静止画およびシーケンス静止画のインポート時のフォーマット、スケーリング方法および長さを設定します。 フォーマット 静止画の取り込み時のフォーマット、フレームレートを設定します。 スケーリング 静止画の取り込み後のサイズとアスペクト比が異なる場合、以下の処理を行ってスケーリングします。 ・Bars設定したサイズと素材の長い方の辺を同じにし、上下もしくは左右を黒帯表示します。 ・Crop設定したサイズと素材の短い方の辺を同じにし、表示します。 ・Stretch

GPI入出力設定

GPI入力設定画面



GPI 入力	[前へ]ボタン、[次へ]ボタンで GPI 入力を選択します。
GPI 入力 トリガー設定	 [前へ] ボタン、[次へ] ボタンで GPI 入力を選択します。 GPI 入力トリガーの設定を行います。 チャンネル トリガーがコントロールするチャンネルを選択します。 動作 トリガーの動作を選択します。 ・ Stop
	 ・ CueEndロードしたコンテンツのOut点にCueUpします。 ・ Ejectロードしたコンテンツをアンロードします。 ・ Preview
GPI出力設定画面

Configuration		×
Configuration	GPI出力 1 前へ 次へ トリガー設定 名称: GPI-OUT-1 アクティブ: ・ ・ High O Low ※GPI出力はP1でのみ使用可能です。	×
デフォルト	OK キャンセル 適用	

GPI 出力	[前へ]ボタン、[次へ]ボタンで GPI 出力を選択します。
トリガー設定	GPI 出力トリガーの設定を行います。 <mark>名前</mark> トリガーの名称を指定します。 アクティブ アクティブにする GPI 信号を、High、Low から選択します。

ジョグ/シャトル設定

Configuration					×
Configuration - 一般 - ハードウェア - ネットワーク-1 - ネットワーク-2 - ホットワーク-3 - FTP - その他 R1	シャトルスピード: VAR再生設定:	16 1/8	,		×
ー 転送 ■ GPI - 入力 - 出力 - ジョグ/シャトル デフォルト			OK	キャンセル	適用

シャトルスピード	シャトルの最高速度を、16x、32x から選択します。
VAR 再生設定	可変速再生モード時の再生速度を、1/8、1/4、1/2 から選 択します。

ワークステーションモード

概 要

ワークステーションモードは、マウスとキーボードを使用して、外部接続したディスプレイ画面上でT2を操作するモードです。ワークステーションモードで動作中に、タッチスクリーンLCDをタップすると、フロントパネルモードに切り替えることができます。





ワークステーションモードの画面には、次のものがあります。

- メニューバー
- ステータスバー
- ビン/転送画面表示部
- コンテンツ表示部
- チャンネル表示部

メニューバー

システム(S) オプション(O) ヘルプ(H)

システムメニュー

フロントパネルモードに切替	ワークステーションモードを終了し、フロントパネルモード に切り替えます。
ワークステーションモード に切替	フロントパネルモードを終了し、ワークステーションモード に切り替えます。
メンテナンス	メンテナンスモードへ移行します。パスワードの入力が必要です。
終了	T2 をシャットダウンします。

オプションメニュー

ログ	ログレベルの設定やログの表示を行います。 ログレベルの設定 ログレベル設定画面を表示します。 ログを表示 ログ画面を表示します。
デバイスの取り外し	リムーバブルデバイスを一覧表示し、取り外し操作を行い ます。
カスタマイズ	キーボードショートカット画面、マウスカスタマイズ画面を 表示します。

ヘルプメニュー

T2 について	バージョンを表示します。
---------	--------------

発行時間 🔤 22:42 B:42

ステータスバー

1の表示 ワーカステーシェンモード

表示モード切替ボタン	全チャンネル表示(3ch 表示)と任意1チャンネルフルサイ ズ表示(1ch 表示)の切り替えを行います。
動作モード	現在の動作モードを表示します。
ログ通知アイコン	警告ログもしくはエラーログ発生時にアイコンで通知しま す。アイコンをクリックするとログ画面を表示し、内容を確 認することができます。
FTP	FTP サーバーが実行中の場合に表示します。
転送中アイコン	インポート中、エクスポート中、転送中を示すアイコンを表 示します。
CPU	T2 の CPU 負荷率を表示します。
録画可能時間	HDD への録画可能時間の目安を表示します。
時刻	時刻を表示します。

キーボードショートカット画面

キーボードショートカットの設定を割り当てます。ここで割り当てたキーボードショートカット設定はワークステーションモードでのみ有効です。

。 キーボードショートカット		×
キーボードショートカット設定: key1 🗸 リスト 編集		
全般 コンテンツリスト ブレイリスト		
אעדב	新しいキーを入力:	
R15ャンネルを選択する P15ャンネルを選択する P25ャンネルを選択する フォルタリストにフォーカスを移動する	現在のキー:	キーの割当
ンテンツリスドにフォールえを移動する コンテンツリスドにフォールえを移動する 違択チャンネルのブレイリストにフォーカスを移動する コンテンツのダフを崩除大切の替える こったりいを含い Viewを祝い替える こったりいたます。 違択チャンネルのロックのついつ作を切り替える 違択チャンネルのロックのの小つ作を切り替える 違択チャンネルのロックのの小つ作を切り替える 違択チャンネル(R1)の緑画を開始する 違択チャンネル(R1)の緑画を開始する 違択チャンネルで再生を開始する 違択チャンネルで可生を開始する 違択チャンネルで可生を開始する 違れチャンネルで可生を開始する 違れチャンネルで可生を開始する	D1	育川厚余
	OK (++>>t	ル道用

キーボードショートカット 設定	キーボードショートカットの一覧を選択します。
リスト編集ボタン	キーボードショットカットの一覧を編集します。
全般タブ	 コマンド 実行されるコマンドの一覧を表示します。 新しいキーを入力 選択中のコマンドのショートカットに割り当てる新しいキー を入力します。 現在のキー 選択中のコマンドのショートカットに現在設定されている キーを表示します。 キーの割り当てボタン 「新しいキーを入力」欄に入力したキーを選択中のコマンドに 割り当てます。 削除 選択中のコマンドのショートカットを削除します。
コンテンツリストタブ	 コマンド 実行されるコマンドの一覧を表示します。 新しいキーを入力 選択中のコマンドのショートカットに割り当てる新しいキーを入力します。 現在のキー 選択中のコマンドのショートカットに現在設定されているキーを表示します。 キーの割り当てボタン 「新しいキーを入力」欄に入力したキーを選択中のコマンドに割り当てます。 削除 選択中のコマンドのショートカットを削除します。

T2 — User Manual (SP2) — ワークステーションモード編 —

プレイリストタブ	コマンド 実行されるコマンドの一覧を表示します。 新しいキーを入力 選択中のコマンドのショートカットに割り当てる新しいキー を入力します。 現在のキー 選択中のコマンドのショートカットに現在設定されている キーを表示します。
	キーの割り当てボタン 「新しいキーを入力」欄に入力したキーを選択中のコマンドに 割り当てます。
	削除 選択中のコマンドのショートカットを削除します。

マウスカスタマイズ画面

マウスの設定を割り当てます。ここで割り当てたマウス設定はワークステーションモードでのみ有効です。



マウス設定	マウス設定の一覧を選択します。
リスト編集ボタン	マウス設定の一覧を編集します。
コンテンツリストタブ	 マウス操作 ショートカットに割り当てるマウス操作を表示します。 コマンド 実行されるコマンドを表示します。 設定 シングルクリックモード、ダブルクリックモード、シングルクリックおよびダブルクリックモードの選択、複数選択の許可を設定します。
プレイリストタブ	 マウス操作 ショートカットに割り当てるマウス操作を表示します。 コマンド 実行されるコマンドを表示します。 設定 シングルクリックモード、ダブルクリックモード、シングルクリックおよびダブルクリックモードを選択します。

ビン/転送画面表示部

ビンタブ



ビン / 転送画面切替ボタン	ビンフォルダ画面と転送画面を切り替えます。		
フォルダ作成ボタン	新規フォルダを作成します。		
検索ボタン	キーを指定してクリップ、プレイリストを検索することがで きます。		
設定ボタン	設定画面を表示します。		
ビンタブ	クリップ、プレイリストを格納するフォルダを表示します。		
ブラウズタブ	リムーバブルドライブや DVD 上のメディアファイルをク リップとしてインポートしたり、直接再生したりする場合に 使用します。		
ごみ箱タブ	ビンから削除されたクリップ、プレイリスト(のフォルダ) を表示します。		
検索タブ	検索結果でリストアップされたフォルダを表示します。		

ブラウズタブ

接続および選択したメディア内の素材のインポート情報等を表示し ます。



新しい接続ボタン

ビン / 転送画面切替ボタン	ビンフォルダ画面と転送画面を切り替えます。	
新しい接続ボタン	フォルダの参照画面を開き、接続するリムーバブルメディア を選択します。	
設定ボタン	設定画面を表示します。	
ビンタブ	クリップ、プレイリストを格納するフォルダを表示します。	
ブラウズタブ	リムーバブルドライブや DVD 上のメディアファイルをク リップとしてインポートしたり、直接再生したりする場合に 使用します。	
ごみ箱タブ	ビンから削除されたクリップ、プレイリスト(のフォルダ) を表示します。	
検索タブ	検索結果でリストアップされたフォルダを表示します。	

ごみ箱タブ



ビン / 転送画面切替ボタン	ビンフォルダ画面と転送画面を切り替えます。		
設定ボタン	設定画面を表示します。		
ビンタブ	クリップ、プレイリストを格納するフォルダを表示します。		
ブラウズタブ	リムーバブルドライブや DVD 上のメディアファイルをク リップとしてインポートしたり、直接再生したりする場合に 使用します。		
ごみ箱タブ	ビンから削除されたクリップ、プレイリスト(のフォルダ) を表示します。		
検索タブ	検索結果でリストアップされたフォルダを表示します。		

検索タブ



ビン / 転送画面切替ボタン	ビンフォルダ画面と転送画面を切り替えます。	
検索ボタン	キーを指定してクリップ、プレイリストを検索することがで きます。	
設定ボタン	設定画面を表示します。	
ビンタブ	クリップ、プレイリストを格納するフォルダを表示します。	
ブラウズタブ	リムーバブルドライブや DVD 上のメディアファイルをク リップとしてインポートしたり、直接再生したりする場合に 使用します。	
ごみ箱タブ	ビンから削除されたクリップ、プレイリスト(のフォルダ) を表示します。	
検索タブ	検索結果でリストアップされたフォルダを表示します。	

検索画面

検索	x
ビン: すべて 🗸	
検索条件	
名前:	
日付: 更新日付 🗸	
2010/05/20 № - 1 2010/05/20 №	
種類: すべて ▼	
<i>ӯӱ</i> :	
OK キャンセル	

	ビン	検索対象フォルダを選択します。			
	名前	名前で検索します。			
	日付	作成日時、または更新日時 (A ~ B、A 以前、A 以降)で検索 します。			
	種類	スタンダード(HD/SD)で検索します。			
タグ TAG(複数入力の部分 ※複数単語を入力する		TAG(複数入力の部分一致の AND)で検索します。 ※複数単語を入力する場合は "."(ピリオド)で区切ります。			

ビンフォルダ右クリックメニュー



検索	キーを指定してクリップ / プレイリストを検索します。(選 択フォルダ内のみ)	
	ビンフォルダを複製します。	
削除	フォルダを削除して、ゴミ箱へ移動します。フォルダに含ま れるクリップ、プレイリストも削除されます。	
名前の変更	ビンフォルダの名称を変更します。	
プロパティ	ビンフォルダのプロパティを表示します。	

ブラウズ画面右クリックメニュー



新しい接続	接続されたリムーバブルドライブを認識します。		
最新の情報に更新	選択されているリムーバブルメディアを最新の情報に更新します。		
すべて切断	すべてのリムーバブルドライブを切断します。		

ブラウズ画面リムーバブルメディア右クリックメニュー



最新の情報に更新	選択されているリムーバブルメディアを最新の情報に更新し ます。
切断	選択されているリムーバブルメディアを切断します。
プロパティ	選択されているフォルダのプロパティを表示します。

ごみ箱 - フォルダ右クリックメニュー



元に戻す	元のビンにリストアします。 プレイリストをリストアする場合、そのプレイリストが使用 しているクリップがごみ箱にあれば、同時にリストアされ ます。
ごみ箱を空にする	ごみ箱のフォルダをすべて削除します。

検索結果フォルダ右クリックメニュー



検索条件の変更	検索条件を変更して再検索します。	
クリア	検索結果を消去します。	
名前の変更	名称を変更します。	

転送画面

ビンフォルダ上部の転送ボタンをクリックすると、ビンフォルダ表示部 が切り替わり、現在の転送状態(登録された転送ジョブとその進行状況)をリスト表示します。

フォルダ 🔳	zĔ		* [設定 🗙
		1	削除	クリア
クリップ	ステータス	ピン	パス	
Li p_01(1)	17%	Bin	E:\NTSC\C	ip_01.avi
🗗 Clip_02	0%	Bin	E:\NTSC\C	ip_02.avi
🗗 Clip_03	0%	Bin	E:\NTSC\C	ip_03.avi

フォルダ / 転送切替ボタン	ビンフォルダ画面と転送画面を切り替えます。
削除ボタン	リスト上で選択したジョブを削除します。転送中の場合は、 ジョブを中止します。
クリアボタン	ジョブリストに表示されているジョブをすべて削除します。

※何らかの理由でインポートもしくはエクスポートが中止された場合、 ステータスバーのログ通知アイコンが表示されます。ログ通知アイコ ンをクリックすると中止された内容を確認することができます。

インポート画面

ブラウズタブの新しい接続でリムーバブルドライブのフォルダを追加 し、コンテンツの右クリックメニューでインポートをクリックすること で表示します。



削除ボタン	ソースファイルリストで選択したファイルをリストから 削除します。
上へボタン	ソースファイルリストで選択したファイルを、ひとつ上 に移動します。
下ヘボタン	ソースファイルリストで選択したファイルを、ひとつ下 に移動します。
ソースファイルリスト	インポート対象のソースファイルを一覧表示します。
ビン	インポート先のビンフォルダを選択します。
開始ボタン	インポート処理を開始(ジョブに追加)して、インポー ト画面を閉じます。
キャンセル	インポート画面を閉じます。

エクスポート画面

ビンタブのコンテンツの右クリックメニューでエクスポートをクリックすることで表示します。

エクスポートクリップリスト |

エクスポート		×
名前	フォーマット	
Clip 01	Canopus HO	
Clip_02	Canopus HQ	
エクスポートフォルダ:	参昭	
	開始	キャンセル
×		

削除ボタン	エクスポートクリップリストで選択したファイルをリス トから削除します。
上へボタン	エクスポートクリップリストで選択したファイルを、ひ とつ上に移動します。
下へボタン	エクスポートクリップリストで選択したファイルを、ひ とつ下に移動します。
エクスポートクリップリスト	エクスポート対象のクリップを一覧表示します。
エクスポートフォルダ	参照ボタンを押して、エクスポート先のフォルダを指定 します。
開始ボタン	エクスポート処理を開始(ジョブに追加)して、エクス ポート画面を閉じます。
キャンセル	エクスポート画面を閉じます。

コンテンツ表示部

コンテンツを一覧表示します。右クリックメニューから、テキスト表 示、アイコン表示(大/小)を切り替えることができます。

テキスト表示

アイコン表示



件数	選択中のコンテンツ数と、フォルダ内のコンテンツ数を表示 します。
インポートボタン	自動でブラウズタブに切り替わり、コンテンツのインポート メニューを開きます。
エクスポートボタン	自動でビンタブに切り替わり、コンテンツのエクスポートメ ニューを開きます。
詳細ボタン	選択中のコンテンツの詳細を表示します。



ペアリングアイコン	同期再生用にペアリングされているクリップに表示されます。
ロックアイコン	クリップ / プレイリストがロックされている場合に表示されます。
プレイリストで使用中アイコン	プレイリストで使用されている場合に表示されます。
素材タイプアイコン	クリップ / プレイリスト / 静止画の素材タイプを表示します。

コンテンツの選択

コンテンツ(クリップ、プレイリスト)は、Ctrlキー、Shiftキーとの組み 合わせで複数選択することができます。

コンテンツの操作

コンテンツは、ビンフォルダ表示部内のフォルダにドラッグ&ドロップで移動させることができます。また、Ctrlキーを押しながらドラッグすることで、コピーを作成することができます。ファイルやクリップなどをコピーする場合、自動的にsuffixが付加されます。

コンテンツのプレビュー

右クリックメニューの [フィルムストリップ表示] で静止画を並べて表示します。



コンテンツのペアリング(同期設定)

右クリックメニューから、P1チャンネルとP2チャンネルの同期再生のためのペアリングを設定することができます。

ペアリングされた素材は、サムネイル上にペアリングアイコンが表示されます。

ペアリングを解除するには、ペアリング設定した素材のうち一方を選択 した状態で、右クリックメニューの[ペアリング解除]を選択します。

ペアリング可能条件

- 同種の素材2つ(クリップ2つ、またはプレイリスト2つ)。クリッ プとプレイリストの組み合わせでペアリングすることはできません。
- 音声は不問

インポートメニュー



新しい接続を追加	接続されたリム-バブルドライブを認識します。
選択アイテムのインポート	選択されているアイテムをインポートします。
すべてのアイテムのインポート	接続されたリムーバブルドライブ上で選択したフォルダ 内のアイテムをすべてインポートします。
選択アイテムのシーケンス形式 でのインポート	選択した複数の静止画ファイルをシーケンス形式でイン ポートします。 インポートした複数の静止画は単一選択で動作します。

エクスポートメニュー

<u>選択アイテムの</u> <u>すべてのアイテ</u>	<u>Dエクスポート</u> ムのエクスポート	<u>.</u>	
1/28	「インポート	エクスポート	詳細

選択アイテムのエクスポート	選択されているアイテムをエクスポートします。
すべてのアイテムのエクスポート	フォルダ内のアイテムをすべてエクスポートします。

詳細メニュー

名前: ビデオ コーデック: ビデオ サイズ: ビデオ フレームレート: オーディオ チャンネル数: オーディオ サンプリング周波数: オーディオ 量子化ビット数: In点TC: Out点TC: デュレーション: 作成日時: 更新日時:	Clip_02 Canopus HQ 1440x1080 29.97 2ch 48kHz 16bit 00:11:13;01 00:11:17;01 00:00:04;00 2010/05/18 10:41:25 2010/05/21 11:24:58
1/28 インポート	エクスポート 詳細

名前	選択されているアイテムの名称(ファイル名、クリップ 名)を表示します。
ビデオコーデック	選択されているアイテムのビデオコーデックを表示します。
ビデオ サイズ	選択されているアイテムのビデオ サイズを表示します。
ビデオ フレームレート	選択されているアイテムのフレームレートを表示します。
オーディオ チャンネル数	選択されているアイテムのオーディオ チャンネル数を 表示します。
オーディオ サンプリング周波数	選択されているアイテムのオーディオ サンプリング周 波数を表示します。
オーディオ 量子化ビット数	選択されているアイテムのオーディオ量子化ビット数を 表示します。
In 点 TC	選択されているアイテムの In 点を表示します。
Out 点 TC	選択されているアイテムの Out 点を表示します。
デュレーション	選択されているアイテムの長さを表示します。
作成日時	選択されているアイテムの作成日時を表示します。
更新日時	選択されているアイテムの更新日時を表示します。

ビンフォルダ コンテンツ右クリックメニュー

🗖 Defau	t		
サムネイル	△ 名前	<u>^</u>	
	Playlist(4) ± 00:07:29;09 2009/11/17	13:23:34	
F	Clip_02 1440x1080 5 P1(2 n - 15	59.94i 🔳	
	P2(20-K	1:06:01	I
	P1のプレイリストに追加 P2のプレイリストに追加	1.94i	
	切り取り	0:42:01	1
	コピー 貼り付け	^{1.94i}	
	削除	D:42:19	
	名前の変更	1.94i	
	ペアリング設定 ペアリング解除	J:42:30	
	エクスポート	1.94i	
	表示	J:42:54	
Į.	サムネイルの枠色 フィルムストリップ表示	v.94i	
	70//77	.3:44:08	

P1 にロード	選択対象を P1 チャンネルにロードします。※ 1
P2 にロード	選択対象を P2 チャンネルにロードします。※ 1
P1 のプレイリストに追加	選択対象を P1 チャンネルにロードしたプレイリストに追加 します。※ 1 ※ 3
P2 のプレイリストに追加	選択対象を P2 チャンネルにロードしたプレイリストに追加 します。※1※3
切り取り	選択対象をカット(クリップボードにコピー)します。 ※ 1 ※ 3
コピー	選択対象をコピー(クリップボードにコピー)します。 ※ 1 ※ 3
貼り付け	クリップボードにコピーされた内容をペーストします。
削除	選択対象を削除して、ごみ箱に移動します。
名前の変更	選択対象の名称を変更します。※1
ペアリング設定	同期再生用にペアリング設定を行います。※2

T2 — User Manual(SP2) — ワークステーションモード編 —

ペアリング解除	同期再生用のペアリングを解除します。
エクスポート	選択中のコンテンツをエクスポートします。※3
表示	アイコン表示 / テキスト表示を切り替えます。
サムネイルの枠色	サムネイル枠色を設定します。※3
フィルムストリップ表示	選択対象のプレビュー(フィルムストリップ)を表示します。 ※ 1
プロパティ	選択対象のプロパティを表示します。※ 1

※1 1素材選択時のみ有効
 ※2 2素材選択時のみ有効
 ※3 複数素材選択が有効。

ブラウズ画面 リムーバブルメディア右クリックメニュー



P1 にロード	選択したコンテンツをP1 チャンネルにロードします。 クリップとしてインポートすることなく、再生して確認する ことができますが、再生速度は接続されているメディアドラ イブの性能に依存します。※1
P2 にロード	選択対象を P2 チャンネルにロードします。 クリップとしてインポートすることなく、再生して確認する ことができますが、再生速度は接続されているメディアドラ イブの性能に依存します。※1
インポート	選択対象をビンフォルダにインポートします。※2
インポート(シーケンス)	静止画シーケンスをコンテンツとしてインポートします。 ※ 1
表示	アイコン表示 / テキスト表示を切り替えます。
フィルムストリップ表示	選択対象のプレビュー(フィルムストリップ)を表示します。 ※ 1
プロパティ	選択対象のプロパティを表示します。※1

※1 1素材選択時のみ有効

※2 複数素材選択が有効

ごみ箱 - クリップ、プレイリスト右クリックメニュー



元に戻す	元のビンにリストアします。 リストア後、対象ビンフォルダ表示に切り替わります。プレ イリストをリストアする場合、そのプレイリストが使用して いるクリップがごみ箱にあれば、同時にリストアされます。
表示	アイコン表示 / テキスト表示を切り替えます。
プロパティ	選択したコンテンツのプロパティを表示します。

チャンネル表示部

3ch表示、1ch表示の2種類の表示モードがあります。



1ch 表示



T2 — User Manual (SP2) — ワークステーションモード編 —

3ch表示

R1、P1、P2の3チャンネルを表示します。各チャンネル部をクリックす ることでアクティブなチャンネルを切り替えることができます。



R1チャンネル

入力された信号の録画を行うためのチャンネルです。

画面に表示される項目については、「1ch表示 – レコーダーチャンネル」のページを参照してください。



P1/P2チャンネル - クリップ再生モード

クリップの再生を行うチャンネルです。

画面に表示される項目については、「1ch表示 – クリップ再生チャンネル」のページを参照してください。



P1/P2チャンネル - プレイリスト再生モード

プレイリストの再生を行うチャンネルです。

画面に表示される項目については、「1ch表示 – プレイリスト再生チャン ネル」のページを参照してください。



1ch表示 - レコーダーチャンネル

クリップの録画に関する設定や録画処理を行う画面です。HDDの空き容量 が少なくなるとステータスバーのHDDアイコンが赤色で表示されます。 また、録画開始時に警告のメッセージが表示されます。

 ステータス表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部

 プレジョー表示部 プレビュー表示部 設定ボタン部

操作ボタン部

情報表示部

ステータス表示部



ステータス	録画中のクリップの録画動作状態を円グラフ状に表示します。
ロックボタン	チャンネルのロック / アンロックを切り替えます。

プレビュー表示部



ステータスバー

プレビュー	入力映像をプレビュー表示します。
オーディオレベル	入力オーディオレベルを表示します。
Cur	カレントタイムコードを表示します。
Elapsed	録画経過時間をタイムコードで表示します。
ステータスバー	録画進行状況をバー形式で表示します。

設定ボタン部

ライブ VTR リモート	<u></u>
	 アンロードボタン
コントロールモード切替	録画モードを Live/VTR より選択して切り替えます。
	 ライブ 外部からライブ(ストリーム)入力される映像をそのまま録 画します。録画操作は手動で行います。 固定長録画を使用することで、指定時間の録画後に自動で録 画を終了することができます。
	VTR 外部 VTR 機器を T2 からコントロールし、IN/OUT 点を指定 して録画を行うことができます。 使用するには外部機器との RS-422A リモート接続が必要です。
	リモート 外部 VTR 機器からT2 をコントロールし、IN/OUT 点を指定し て録画を行うことができます。 使用するには外部機器との RS-422A リモート接続が必要です。
アンロードボタン	ロードされたクリップをアンロードします。

操作ボタン部

♥♥◀◀■ ■ ►►♥ ♥♥ ♡ ↔

Cue (IN)	設定されている IN 点に VTR を CueUp します。 (VTR モードのみ)
Cue (OUT)	設定されている OUT 点に VTR を CueUp します。 (VTR モードのみ)
巻き戻しボタン	VTR を巻き戻します。(VTR モードのみ)
フレーム戻しボタン	1フレーム戻します。(VTR モードのみ)
停止ボタン	再生、録画を停止します。
録画ボタン	録画を開始します。
再生ボタン	VTR を再生します。(VTR モードのみ)
フレーム送りボタン	1フレーム送ります。(VTR モードのみ)
早送りボタン	VTR を早送りします。(VTR モードのみ)
Mark (IN)	現在位置を IN 点に設定します。IN 点を設定すると、TC 表 示エリアに IN 点のタイムコードがセットされます。
Mark (OUT)	現在位置を OUT 点に設定します。OUT 点を設定すると、 TC 表示エリアに OUT 点のタイムコードがセットされ、 Length 表示エリアに、クリップの長さがセットされます。
クリアボタン	設定されている IN/OUT 点をクリアします。

情報表示部

クリップ:			•
タグ:			
マーク In:		73-734 270-456 F0 44	
マーク Out:		/2014/00 39:39# /PBG	
長さ:		וען	
ライブレコート	ド設定		
長さ:	00:00:00;00	_	
	固定長録画		

クリップ	クリップ名を入力します。
タグ	タグを入力します。
マーク In	IN 点のタイムコードを表示します。
マーク Out	OUT 点のタイムコードを表示します。
長さ	IN-OUT 間の長さをタイムコードで表示します。
フォーマット	Video サイズ、フレームレート、入力、ソース TC(TC(LTC)/ SDI(VITC)/ INT)などを表示します。
ライブレコード設定	ライブレコードの設定を行います。 長さ 固定長録画モード時に、録画時間を設定します。 固定長録画 固定長録画モードを ON にする場合にクリックします。
RecモードとRec機能の対応

各録画モードと録画機能は、次の表を参照してください。

	Crash Rec	Fixed Length Rec	
VTR	○※ 1	○※ 1	
Live	0	0	

※1 VTR の IN/OUT が設定されていない場合のみ

- VTRモードで、IN/OUTとも設定されている場合は、VTRを制御し、指定されたIN-OUT間の録画のみ行います。
- VTRモードで、INのみ設定されている場合は、VTRを制御し、指定 されたIN点からの録画を開始します(終了操作は手動で行います)。
- Rec種類毎に録画ボタンのアイコンが変化します。

Crash Rec	録画の終了を手動で行う必要がある場合 に表示されます。
Fixed Length Rec	固定長録画を行う場合に表示されます。
In-Out Rec	IN 点、OUT 点が設定されている場合に表示 されます。

1ch表示 – クリップ再生チャンネル

クリップの再生に関する設定や再生処理を行う画面です。



ステータス表示部



ステータス	録画中のクリップの録画動作状態を円グラフ状に表示します。		
再生モード	 E to E E to E モードの ON/OFF を表示します。E to E モードを ON にすると、ロードしたクリップが停止状態の場合や、クリッ ブがロードされていない場合に、R1 チャンネルに入力されて いる映像をアクティブスルーで出力します。 ※ E to E モードを選択したチャンネルのビデオフォーマット は R1 チャンネルと同一である必要があります。 ループ ループ再生モードの ON/OFF を表示します。 3D 同期 同期再生モードの ON/OFF を表示します。 (P2 チャンネルのみ) 		
ロックボタン	チャンネルのロック / アンロックを切り替えます。		





プレビュー	プレビュー映像を表示します。		
オーディオレベル	出力オーディオレベルを表示します。		
Cur	カレントタイムコードを表示します。		
再生速度表示	現在の再生速度(倍率)を表示します。		
Remain	残り時間をタイムコードで表示します。		
スクラブバー	現在位置、Mark 位置を表示します。		
Zoom ボタン	スクラブバーの表示スケール(Zoom On / Off)を切り替えます。 Zoom On クリップの IN-OUT 間を全体スケールとして表示します。設 定されている IN-OUT の範囲外に移動することはできません。 Zoom Off メディア全体をフルスケールとして表示します。 通常再生操作では IN-OUT 間のみで移動可能です。設定され ている IN-OUT の範囲外に移動したい場合は、CueUp 後に FF、Rew、スクラブバーのつまみ操作を行ってください。		

設定ボタン部

<u>クリップ</u> プレイリスト リモ モード切替ボタン	-ト 스 アンロードボタン
モード切替ボタン	クリップ再生 / プレイリスト再生のモードを切り替えます。
リモートボタン	外部機器からのリモート制御を有効にする場合にクリックします。
アンロードボタン	ロードされたクリップをアンロードします。

操作ボタン部

Q+ +D		> > 1 0	D 😡 🚓

Cue (IN)	設定されている IN 点に CueUp します。
Cue (OUT)	設定されている OUT 点に CueUp します。
 先頭ボタン	ロードされたコンテンツの先頭に CueUp します。
巻き戻しボタン	クリップ再生時 直前の IN/OUT 点、またはクリップの先頭に移動します。 プレイリスト再生時 前のイベントへ移動します。
フレーム戻しボタン	ロードされたコンテンツを1フレーム戻します。
停止ボタン	再生を停止します。
再生ボタン	ロードされたコンテンツを再生します。
 フレーム送りボタン	ロードされたコンテンツを1フレーム送ります。
早送りボタン	クリップ再生時 次の IN/OUT 点、またはクリップの最後尾に移動します。 プレイリスト再生時 次のイベントへ移動します。
最後ボタン	ロードされたコンテンツの最後に CueUp します。
Mark (IN)	現在位置を IN 点に設定します。IN 点を設定すると、タイム コード表示エリアに IN 点のタイムコードがセットされます。
Mark (OUT)	現在位置を OUT 点に設定します。OUT 点を設定すると、タ イムコード表示エリアに OUT 点のタイムコードがセットさ れ、Duration 表示エリアに、クリップの長さがセットされます。
クリアボタン	設定されている IN/OUT 点をクリアします。
サブクリップ作成ボタン	設定されている IN/OUT 点の情報を元に、サブクリップを作 成します。



クリップ:	dø_02
タグ:	street.
マーク In:	00:11:13;19
マーク Out:	00:11:15;22
長さ:	00:00:02:03 ##2
hunder	
クリップ In:	0011113011 73+-75-61144001080
blied Out-	00111/101 59.941
Ex.	
140.	

クリップ	ロードしたクリップの名称を表示します。
タグ	タグを入力、表示します。
マーク In	IN 点のタイムコードを表示します。
マーク Out	OUT 点のタイムコードを表示します。
長さ	IN - OUT 間の長さをタイムコードで表示します。
確定ボタン	クリップに IN/OUT を設定するためのボタンです。IN、 OUT を指定後、確定ボタンでクリップの IN、OUT が更新さ れます。
クリップ In	クリップの IN 点のタイムコードを表示します。
クリップ Out	クリップの OUT 点のタイムコードを表示します。
長さ	クリップの長さをタイムコードで表示します。



プレビュー表示エリア右クリックメニュー

サムネイルを更新する 現在表示中のフレームをサムネイルとして使用します。

ビンからクリップをロードする

ドラッグ&ドロップ、ビンメニュー、クリップ上でダブルクリックの操作 を行うことで、ビンからクリップのロードを行うことができます。

録画中クリップをロードする(追っかけ再生)

録画を開始するとビンに表示される録画クリップをロードします。

Mark IN/OUT位置の調整

Mark-in/outにCueUp後、フレーム移動またはFF/Rewボタンで、現在のIN/OUT範囲外へ移動する(クリップの長さを伸ばす)ことができます。

同期再生モード

同期再生モードでは、ビンでペアリング設定を行ったクリップをロード することができます。ペアリングされたクリップをP1チャンネルにロー ドすると、ペアリング先のクリップがP2チャンネルに自動ロードされ ます。

同期再生モードへの切り替わり時に、P1チャンネルとP2チャンネルの出 力設定が異なる場合は、P2チャンネルがP1チャンネルと同じ設定になる ように自動的に変更されます。

E to Eを同時に使用することはできません。

同期再生モードでは、再生制御のみ可能で、クリップのIN/OUT設定、 サブクリップ作成などの編集を行うことはできません。

※ペアリングされた2つのクリップの長さが異なる場合、マスターであ るP1チャンネルに合わせて再生動作を行います(P2チャンネルが短い 場合は最終フレームを表示し続けます)。

同期再生モード可能条件

- 同種の素材2つ(クリップ2つ、またはプレイリスト2つ)。クリッ プとプレイリストの組み合わせでペアリングすることはできません。
- ・
 音声は不問。

注意	リムーバブルメディア内の素材(クリップ)はペアリングできま
	せん。

リムーバブルドライブからの直接再生

T2本体にコンテンツとしてインポートすることなく、リムーバブルドラ イブ内の対応メディアをP1/P2チャンネルに読み込むことができます。

ビン画面のブラウズタブでメディアファイルを選択後、>P1ボタン、または>P2ボタンを押すことで、それぞれのチャンネルにファイルが読み込まれます。

P1/P2チャンネルでの操作

各チャンネルに読み込んだ状態で、次の操作を行うことができます。

- 各操作ボタンによる再生操作(再生、停止など)
- In点、Out点の設定、In点、Out点への移動
- オーディオレベルのゲイン調整
- プロパティの表示
- Mark In/Mark Outの設定

※リムーバブルドライブを切断すると、設定した情報はクリアされ ます。

注意	以下の操作は行うことができません。 • サブクリップの作成 • 同期再生(ペアリング) • プレイリストへの追加

- **注意** ※接続した外部ドライブの性能によっては、再生が間に合わない 場合があります。
- 注意 ※リムーバブルドライブ上のデータから、サブクリップを作成したり、プレイリストを作成することはできません。サブクリップやプレイリストを作成する必要がある場合には、ビン画面のブラウズタブで、インポート処理を行って、T2本体にクリップとして登録してください。

静止画ファイルのインポート

静止画ファイルを素材としてインポートすることができます。

- また、複数の静止画ファイルをシーケンシャルファイルとしてインポー トすることで、動画コンテンツとして使用することができます。
- インポートの設定についてはp.35を参照してください。
- ※シーケンシャルファイルの途中で「拡張子が異なる場合」、「アルファ が付加された素材と付加されていない素材が混在する場合」はインポー トを中止します。
- ※静止画およびシーケンシャルな静止画による動画は、ともに、オーディオなし(無音)となります。
- ※アルファ付き静止画の場合、アルファ付きのHQとしてインポートされます。
- ※シーケンスファイルの取り込み時のサムネイル位置は、既存の動画ク リップのインポート時のサムネイル位置と同じとなります。
- ※取り込み可能な静止画の最大値は、4,096x2,304ピクセル(4K)です。

1ch表示 - プレイリスト再生チャンネル

プレイリストの再生に関する設定や再生処理を行う画面です。イベント リスト上で任意イベントをダブルクリックすると該当イベントの先頭に CueUpします。イベントリストは、再生中のクリップが常に表示され るように自動スクロールします。設定ボタンをクリックして表示され る設定画面で、自動スクロールのON/OFFを設定可能(Default:ON) です。

操作	乍ボタン部	プレビュ-	-表示部	設定ボタ	ン部	情報表示部
92 M R1	0 #2920(0) A32(H)	Remark: 60:00:00:20	COD7 21031 COD7 21031 COD7 21031 COD7 CO07			
6	<u></u> ₩-₩ [4 44 4] L ▷					Default サムネイル △ 名前
	10.2 (J) double Our cold Our cold Our cold Our cold	000000 004400 00125 00125 001619 001619				Particitization Particitization 1446-10200 5504 0000-5504 0000-105004 0000-105004 0000-105004 0000-105004 0000-105004 0000-105004 0000-105004 0000-105004 0000-105004 0000-105004 0000-105004 0000-105004 00000-105004 00000-105004 00000-1000005504 00000052 000000-100005504 00000052 00000-10000504 0000052 00000-10000504 0000052
		0.005,14				Alternative Alternative
3 8 7	9-ウステーションモード					A MONAN 🔤 22:42 11:52

ステータス表示部

イベントリスト表示部

ステータス表示部



ステータス	再生進行状況を表示します。
再生モード	 E to E E to E モードの ON/OFF を表示します。E to E モードを ON にすると、ロードしたプレイリストが停止状態の場合や、プレイリストがロードされていない場合に、R1 チャンネルに入力されている映像をアクティブスルーで出力します。 ※ E to E モードを選択したチャンネルのビデオフォーマットはR1 チャンネルと同一である必要があります。 ループ ループ ループ再生モードの ON/OFF を表示します。 3D 同期 同期再生モードの ON/OFF を表示します。 (P2 チャンネルのみ)
ロックボタン	チャンネルのロック / アンロックを切り替えます。

プレビュー表示部



スクラブバー 再生速度表示

プレビュー	プレビュー映像を表示します。
オーディオレベル	出力オーディオレベルを表示します。
Cur	カレントタイムコードを表示します。
再生速度表示	現在の再生速度(倍率)を表示します。
Remain	残り時間をタイムコードで表示します。
スクラブバー	現在位置、Mark 位置を表示します。
TRIM ボタン	設定した In/Out 点の情報で、In/Out 点を更新します(編集時のみ使用可)。

設定ボタン部

クリップ <mark>ブレイリスト</mark> リモ モード切替ボタン	ート ク アンロードボタン
ー モード切替ボタン	クリップ再生 / プレイリスト再生のモードを切り替えます。
リモートボタン	外部機器からのリモート制御を有効にする場合にクリックします。
アンロードボタン	ロードされたクリップをアンロードします。

操作ボタン部

Cue (IN)	カレントイベントの先頭フレームに CueUp します。
Cue (OUT)	カレントイベントの最終フレームに CueUp します。
前のイベントボタン	前のイベント(IN 点)に移動します。
巻き戻しボタン	ロードされたコンテンツを巻き戻します。
フレーム戻しボタン	ロードされたコンテンツを1フレーム戻します。
停止ボタン	再生を停止します。
再生ボタン	ロードされたコンテンツを再生します。
フレーム送りボタン	ロードされたコンテンツを1フレーム送ります。
早送りボタン	ロードされたコンテンツを早送りします。
次のイベントボタン	次のイベント(IN 点)に移動します。
Mark (IN)	現在位置を IN 点に設定します。IN 点を設定すると、TC 表示エリアに IN 点のタイムコードがセットされます(編集時のみ使用可)。
Mark (OUT)	現在位置を OUT 点に設定します。OUT 点を設定すると、 TC 表示エリアに OUT 点のタイムコードがセットされ、 Length 表示エリアに、クリップの長さがセットされます(編 集時のみ使用可)。
クリアボタン	設定されている IN/OUT 点をクリアします(編集時のみ使 用可)。
TRIM ボタン	設定されている IN/OUT 点情報で IN/OUT 点を更新します (編集時のみ使用可)。

情報表示部

クリップ ブ		IJ£-Þ		≙
プレイリスト:	Playlist(14)		<u>•</u>	
タグ:				
長さ:	00:00:39;29			
一現在のイベン	٢			<u> </u>
イベント:	Clip_06			
In:	00:00:00;00			
Out:	00:00:08;25			
長さ:	00:00:08;25			

プレイリスト	プレイリスト名を表示します。
タグ	タグを入力、表示します。
長さ	プレイリスト全体の長さを表示します。
イベント	再生中のイベント名を表示します。
In	再生中のイベントの IN 点を表示します。
Out	再生中のイベントの OUT 点を表示します。
長さ	再生中のイベントの長さを表示します。

イベントリスト表示部

登録されているイベントの一覧と再生進行状況を表示します。

	サムネイル	105
		Citip.02 Cue: 00000000 Due: 00000400
892		CHp_06 Cus: 000004;00 Dur: 000008;25
		Cip_02 Cue: 00:00:12;25 Due: 00:00:10;19
		CHp_11 Cus: 000023;14 Dur: 000010;01
		Chp_14 Cox: 000003;15 Dur: 000006;14

イベントリスト イベントリスト フェードアウト、エンドエフェクトなどを識別するための マーク(アイコン)が表示されます。

※ 最終イベントのエンドエフェクト(一時停止、ループ)が設定されて いる場合は、チャンネルのループ設定は無効となり、エンドエフェク トの動作に従います。

イベントリスト右クリックメニュー

t t	
	Clip_02 Car: 0000000 Dar: 00000400
742	
	801010 再時 さたの事業
	-2000.2. 28-1 [2:5] D/K 17:29
	7D/57

コピー	選択したイベントをコピー(クリップボードにコピー)します。
貼り付け	クリップボードにコピーした内容をペーストします。
削除	選択したイベントを削除します。
名前の変更	選択したイベントの名称を変更します。
スタートエフェクト	選択したイベントのスタートエフェクトを設定します。
エンドエフェクト	選択したイベントのエンドエフェクトを設定します。
プロパティ	選択したイベントのプロパティを表示します。

プレビュー表示エリア右クリックメニュー



サムネイルを更新する

現在表示中のフレームをカレントイベントのサムネイル として使用します。

サムネイル上のアイコン



フェードインアイコン	フェードインが設定されている場合に表示されます。
フェードアウトアイコン	フェードアウトが設定されている場合に表示されます。
ポーズアイコン	イベント終了時にポーズが設定されている場合に表示されます。
ループ再生アイコン	ループ再生が設定されている場合に表示されます。

プレイリストの作成

- プレイリストを作成するには、ビンからクリップ、プレイリストをイベ ントリスト上にドラッグ&ドロップします。
- リスト上で切り取り、コピー、貼り付け、削除の操作を行うことができ ます。

プレイリストのイベントの順番を入れ替えるには、リスト上でドラッグ&ドロップを行います。

※ひとつのプレイリストに登録可能なイベントは最大1000個です。イベ ント数を0に設定することはできません。

※イベントをダブルクリックすると、そのイベントにCueUpします。

同期再生モード

同期再生モードでは、ビンでペアリング設定を行ったプレイリストを ロードすることができます。ペアリングされたプレイリストをP1チャン ネルにロードすると、ペアリング先のプレイリストがP2チャンネルに自 動ロードされます。

同期再生モードへの切り替わり時に、P1チャンネルとP2チャンネルの出 力設定が異なる場合は、P2チャンネルがP1チャンネルと同じ設定になる ように自動的に変更されます。

E to Eモードを同期再生モードと同時に使用することはできません。

同期再生モードでは、再生制御のみ可能で、プレイリストの編集やイベ ントの編集を行うことはできません。

※ペアリングされた2つのプレイリストの長さが異なる場合、マスターで あるP1チャンネルに合わせて再生動作を行います(P2チャンネルが短 い場合は最終フレームを表示し続けます)。

オーディオレベル

オーディオレベル表示部(右矢印部分)をクリックすることで展開表示 します。



スケール選択 モニター出力選択

オーディオレベル / 可変速 再生切替ボタン	可変速再生画面を表示します。
スケール選択	表示スケールを切り替えます。 PEAKO: -60dB ~ 0dB(最大値を 0dB として表示:dBFS) REF0: -40dB ~ +20dB(Config での基準レベル(ヘッド ルーム)を 0dB 表示)
LED レベル表示	オーディオレベル(ピークメーター)を表示します。
ゲインスライダー	各チャンネルのゲインを調整します(R1 チャンネルでは、 ANA のみ使用可能です)。 範囲:-∞~+ 10dB
モニター出力選択	ヘッドフォン端子からのモニター出力のチャンネルを選択し ます。 チャンネルごとに、1+2 / 3+4 / 5+6 / 7+8 から選択可能 です。

可変速再生

オーディオレベル / 可変速再生切替ボタン



再生速度設定バー 再生速度調整ボタン

オーディオレベル / 可変速 再生切替ボタン	オーディオレベル画面を表示します。
再生速度設定バー	バー上をクリックすることで、そのスピードで再生されます。 つまみをドラッグして再生速度を調整することもできます。
再生速度調整ボタン	クリックすることで再生速度を上下させることができます。
Play Speed	現在の再生スピードが表示されます。

プロパティ画面 クリップのプロパティ

クリップ情報タブ

Clip_01 のプロパティ		x
クリップ情報	メディア 情報 タイムコード	
クリップ:	Clip_01	
ピン:	Default	
ビデオフォーマット:	Canopus HQ 1440x1080 59.94i	
オーディオフォーマット	: PCM Wave audio 48kHz 2ch 16bit	
In TC:	00:03:36;13	
Out TC:	00:03:51;03	
長さ:	00:00:14;20	
参照数:	0	
同期ペア先:		
作成日時:	2010/05/20 15:39:20	
更新日時:	2010/05/20 15:39:20	
Audio Gain:	0.0 😴 dB	
	🗅 פאט	
	OK キャンセル 適用	

クリップ	クリップ名を表示します。この画面でクリップ名を変更する こともできます。
ビン	クリップが登録されているビンフォルダ名を表示します。
ビデオフォーマット	ビデオ形式を表示します。
オーディオフォーマット	オーディオ形式を表示します。
In TC	IN 点のタイムコードを表示します。
Out TC	OUT 点のタイムコードを表示します。
長さ	クリップの長さを表示します。 静止画の場合は長さを変更することもできます。
参照数	このクリップを参照しているプレイリストの数を表示します。
同期ペア先	このクリップにペアリング設定されているクリップ名を表示します。
作成日時	作成日時を表示します。
更新日時	更新日時を表示します。
オーディオゲイン	オーディオゲインを行う場合に、数値を入力します。
ロック	クリップをロックする場合にチェックします。

T2 — User Manual (SP2) — ワークステーションモード編 —

メディア情報タブ

Clip_01 のプロパティ	×
クリップ情報	メディア 情報 タイムコード
場所:	V:\media\794d9acc-3e35-4494-a6b7-1c67928d8bff.avi
参照数:	3 詳細
サイズ:	249.63 MB (261,757,662 bytes)
In TC:	00:03:36;13
Out TC:	00:03:51;03
長さ:	00:00:14;20
作成日時:	2010/05/18 10:36:59
更新日時:	2006/05/11 17:10:44
	OK キャンセル 適用

場所	メディアファイルのファイル名、ファイルパスを表示します。
参照数	このメディアファイルを参照しているクリップ、プレイリス トの数を表示します。View ボタンをクリックすると、この メディアファイルを参照しているクリップ、プレイリストの 一覧を確認できます。
サイズ	メディアファイルのサイズを表示します。
In TC	IN 点のタイムコードを表示します。
Out TC	OUT 点のタイムコードを表示します。
長さ	メディアファイルの長さを表示します。
作成日時	作成日時を表示します。
更新日時	更新日時を表示します。

タイムコードタブ

Clip_01 のプロパティ	×
クリップ 情報 メディア 情報 タイムコード	
タイムコードの置き換え:	
● ソースに従う	
○ 開始時間を指定する:;;	
OK キャンセル 適用	

タイムコードの置き換え	タイムコードの置き換えを行う場合の設定を行います。 ソースに従う ソースのタイムコードで置き換える場合にチェックします。 ※出力のフレームレートとコンテンツのフレームレートが異 なる場合、「ソースに従う」の設定でも0基点のタイムコー ド表示となります。
	開始時間を指定する 開始 TC を指定して置き換える場合にチェックして、開始 TC を指定します。

プレイリストのプロパティ

プレイリスト情報タブ

Playlist(13)のプロパティ X		
	プレイリスト 情報	M タイムコード 全イベント
	プレイリスト:	Playlist(13)
	ビン:	Default
	長さ:	00:00:08;25
	イベント数:	1
	参照数:	0
	同期ペア先:	
	作成日時:	2010/05/21 11:26:22
	更新日時:	2010/05/21 11:26:22
		לפם 🗘
		OK キャンセル 週用

プレイリスト	プレイリスト名を表示します。この画面でプレイリスト名を 変更することもできます。
ビン	プレイリストが登録されているビンフォルダ名を表示します。
長さ	プレイリストの長さを表示します。
イベント数	このプレイリストに登録されているイベント数を表示します。
参照数	このプレイリストを参照しているプレイリストの数を表示し ます。
同期ペア先	ペアリング設定されている相手のプレイリスト名を表示します。
作成日時	作成日時を表示します。
更新日時	更新日時を表示します。
ロック	プレイリストをロックする場合にチェックします。

タイムコードタブ

Playlist(13)のプロパティ ン	×
プレイリスト情報 タイムコード 全イベント	
タイムコードの置き換え:	
○ ソースに従う	
● 開始時間を指定する 00:00:00;00	
OK キャンセル 適用	

タイムコードの置き換え	タイムコードの置き換えを行う場合の設定を行います。 ソースに従う ソースのタイムコードで置き換える場合にチェックします。 ※出力のフレームレートとコンテンツのフレームレートが異 なる場合、「ソースに従う」の設定でも0基点のタイムコー ド表示となります。
	開始時間を指定する 開始 TC を指定して置き換える場合にチェックして、開始 TC を指定します。

全イベントタブ

プレイリストに登録されているすべてのイベントに共通の設定を行う画 面です。

Playlist(13) ๗プロパティ 🗙 🗙
プレイリスト情報 タイムコード 全イベント
□ スタートエフェクトの更新:
● すべてのスタートエフェクトを削除する
○ すべてのイベントへスタートエフェクトを追加する
□ フェードイン フェードイン (黒から)
フェード時間 30 つレーム (1 - 300)
□ エンドエフェクトの更新:
● すべてのエンドエフェクトを削除する
○ すべてのイベントヘエンドエフェクトを追加する
□ フェードアウト フェードアウト (黒ヘ)
フェード時間 30 🔷 フレーム (1 - 300)
□ アクション →時停止 (黒フレーム表示)
OK キャンセル 適用



	1
	イベントの終了エフェクトを変更する場合にチェックします
	すべてのエンドエフェクトを削除する すべてイベントの終了エフェクトを削除します。
	オベアのイベントへエンドエフェクトを追加する
	すべてのイベントに終了エフェクトを追加します。
	フェードアウト
	フェードアウトを追加する場合にチェックします。
	・フェードアウト(黒へ)黒場面へのフェードアウト 迫加します
	追加します。
	フェードアウトの開始から完了までの時間を指定します。
	アクション
エンドエフェクトの更新	
	単画面を表示した状能で一日
	停止します。
	・一時停止(白フレーム表示)
	ー」回回しを表示した状態で一口 停止します。
	・一時停止(最終フレーム表示)
	・一時停止(次のイベントのフレーム表示)
	/
	ムを衣示した状態で一時停」します。
	・一時停止(E to E 表示)R1チャンネルに入力されてい
	る映像をアクティブスルー [・] 素云」ます
	ズホしょり。 ・ループ選択したイベントをループ

イベントのプロパティ

イベント情報タブ

Clip_06 のプロパティ	(2/5)	×
イベント情報	GPI スタートエフェクト エンドエフェクト	_
イベント:	Clip_06	
In TC:	00:00:01;02	
Out TC:	00:00:07;24	
長ざ:	00:00:06;22	
種別:	クリップ	
ソース名:	Clip_06	
Audio Gain:	0.0 <mark>🔿</mark> dB	
		21
前へ	次へ OK キャンセル 適用	

イベント	イベント名を表示します。この画面でイベント名を変更する こともできます。
In TC	イベントの IN 点を表示します。
Out TC	イベントの OUT 点を表示します。
長さ	イベントの長さを表示します。 静止画の場合は長さを変更することもできます。
種別	イベントの形式(クリップ、プレイリスト)を表示します。
ソース名	参照先のクリップ名、プレイリスト名を表示します。
Audio Gain	オーディオゲインを行う場合に数値を入力します。

GPIタブ

Clip_06 のプロパティ((2/5)	×
イベント情報	GPI 2タートエフェクト	エンドエフェクト
□ GPI トリガー	GPI-OUT-1	
	● イベントの開始	
	〇イベントの終了	
	○ 開始からプラス時間	00:00:00;00
	○ 終了からマイナス時間	00:00:00;00
※GPI出力はP1です	み使用可能です。	
		キャンセル 適用

GPI トリガー	設定する GPI トリガーを選択します。
イベントの開始	イベントの開始をトリガーに設定する場合にチェックし ます。
イベントの終了	イベントの終了をトリガーに設定する場合にチェックし ます。
開始からプラス時間	イベントの開始から一定時間経過した地点をトリガーに設定 する場合にチェックして、経過時間を入力します。
終了からマイナス時間	イベントの終了より前の地点をトリガーに設定する場合に チェックして、イベント終了までの時間を入力します。

スタートエフェクトタブ



フェードイン	 選択したイベントにフェードインのエフェクトを追加する場合にチェックし、フェードインの効果を選択します。 ・フェードイン(黒から)黒画面からのフェードインを追加します。 ・フェードイン(白から)白画面からのフェードインを追加します。
フェード時間	フェードインの開始から終了までの時間を指定します。

エンドエフェクトタブ

Clip_06 のプロパティ (2/5)	×
イベント情報 GPI スタートエフェクト エンドエフェクト	
 フェードアウト フェードアウト (黒へ) 	
フェード時間 30 🛟 フレーム (1 - 300)	
□ アクション → 時停止 (黒フレーム表示)	
ー 前へ 次へ OK キャンセル 適用	

フェードアウト	選択したイベントにフェードアウトのエフェクトを追加する 場合にチェックし、フェードアウトの効果を選択します。 ・フェードアウト(黒へ)黒画面へのフェードアウトを 追加します。 ・フェードアウト(白へ)白画面へのフェードアウトを 追加します。
フェード時間	フェードアウトの開始から終了までの時間を指定します。
アクション	イベント終了時の動作を選択します。 ・一時停止(黒フレーム表示)

ログレベル設定画面

出力するログレベルを設定します。

ログレベル設定	ĸ
ログレベルを選択してください。	
オペレーションログ ○ エラー ○ 警告 + エラー ● 情報 + 警告 + エラー ○ すべて	
ายช่วยว่า	
01 2 -	
● 警告 + エラー	
○ 情報 + 警告 + エラ∽	
○ すべて 	
OK キャンセル	

オペレーションログ	出力するオペレーションログの種類を選択します。 エラー エラーのみを出力します。 警告 + エラー 警告およびエラーを出力します。 情報 + 警告 + エラー 情報、警告、エラーを出力します。 すべて すべてのログを出力します。
プロセスログ	出力するプロセスログの種類を選択します。 エラー エラーのみを出力します。 警告 + エラー 警告およびエラーを出力します。 情報 + 警告 + エラー 情報、警告、エラーを出力します。 すべて すべてのログを出力します。

ログ画面

ログを表示します。

出力ログ切替ボタン



出カログ切替ボタン表示するログをオペレーションログ、プロセスログから選択
します。オペレーション・プロセス
一覧オペレーション、プロセスの一覧を表示します。ログ一覧ログの一覧を表示します。説明選択したログの説明を表示します。

Section 3 — ワークステーションモード



APPENDIX

T2 ハードウェア仕様

	USB		USB2.0 x 2(前面) x 6(背面)
PC イ ン タ ー フェイス	IEEE1394		IEEE1394a x 1(前面) x 1(背面) ※バスパワー供給は 12V 前後合計 1 A まで。
	PS/2		ミニ DIN 6 ピン x 2
	ディス	プレイ	アナログ RGB D-SUB15 ピンx 1
	シリア	ル	RS232C D-SUB9 ピン x 1 (未使用)
	LAN		RJ-45 ネットワークコネクタx 2 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
	サウン	۲	ステレオミニジャック x 6(未使用)
			DVD-ROM x 1
	17		2.5 インチリムーバブルドライブベイx 1 (RAID/SSD モデル)
		SDI	1 系統 BNC x 2(アクティブスルー x 1)
	入力	DVI-I	1 系統 DVI-I x 1 ※アナログ部分は YPbPr 用(DVI-D は HDCP 非対応)
		コンポジット	1 系統 BNC x 1
映像信号		SDI	2 系統 BNC x 2
	 ш- т	DVI-I	2 系統 ※アナログ部分は RGB/YPbPr 兼用
	出刀	コンポジット	2 系統 BNC x 2
		モニタ	コンポジット2系統 BNC x 2
	1.4	バランスドオーディオ	1 系統 XLR-3-31 x 2 24dBu まで
	入力	デジタルオーディオ	1 系統 AES/EBU BNC x 1
立 吉信早		バランスドオーディオ	2 系統 XLR-3-32 x 4
目广旧与	 ш-л	デジタルオーディオ	1 系統 AES/EBU 2 系統 BNC x 2
	田刀	ヘッドフォン	ステレオジャック x 1
		モニタ用ライン	ステレオミニジャック× 1
タイトコード	入力	LTC	1 系統 BNC x 1
<u> </u>	出力	LTC	2 系統 BNC x 2
同期信号入力			HD3 値、BB 兼用 1 系統 BNC x 2(スルーアウト x 1)
	GPI 入出力		D-SUB15 ピン x 1 6入力 6出力ピン
UT-F RS4		2	3 系統 D-SUB9 ピンx 3 (各 R1、P1、P2 チャンネルに対応)
			AC 100V - 240V, 50/60Hz
消費電流			2.5A - 1.1A
外形寸法			430(W) x 132(H) x 550.8(D)(ゴム足・突起物除く)
重量			約 15kgf
動作周囲温度			+5℃~ +35℃
動作周囲湿度			10%~ 80%(結露なきこと)
解像度一覧

		出力可能	PC 系変換モード 有効時		モニタ	同期可能な R1 入力、	
ノロノアイル	ロートリ能なフォーマット	ビデオポート	DVI-D	DVI-A (RGB)	出力	REF 入力信号	
720 × 486 59.94i	720 × 486 59.94i 720 × 480 59.94i (DVD) 720 × 480 59.94i (DV)	SDI Component Composite	× ×		NTSC	720 × 480 59.94i	
720 × 576 50i	720 × 576 50i (DV) 720 × 576 50i (DVD)	SDI Component Composite	× ×		PAL	720 × 576 50i	
1920 × 1080 59.94i	1920 × 1080 59.94i 1440 × 1080 59.94i 1280 × 1080 59.94i	SDI Component DVI-D ※ 1	PC	PC	NTSC	720 × 480 59.94i, 1920 × 1080 59.94i	
1920 × 1080 50i	1920 × 1080 50i 1440 × 1080 50i	SDI Component DVI-D ※ 2	PC	PC	PAL	720 × 576 50i, 1920 × 1080 50i	
1920 × 1080 24psf	1920 × 1080 24p 1440 × 1080 24p	SDI Component DVI-D(24p)	PC	PC	×	1920 × 1080 24psf (REFin のみ)	
1920×1080 23.98psf	1920 × 1080 23.98p 1440 × 1080 23.98p 1280 × 1080 23.98p	SDI Component DVI-D (23.98p)	PC	PC	×	1920×1080 23.98psf (REFin のみ)	
1920 × 1080 24p	1920 × 1080 24p 1440 × 1080 24p	SDI Component DVI-D	PC	PC	×	1920 × 1080 24p (REFin のみ)	
1920 × 1080 23.98p	1920 × 1080 23.98p 1440 × 1080 23.98p 1280 × 1080 23.98p	SDI Component DVI-D	PC	PC	×	1920 × 1080 23.98p (REFin のみ)	
1280 × 720 59.94p	1280 × 720 59.94p 960 × 720 59.94p	SDI Component DVI-D	PC	PC	NTSC	720 × 480 59.94i % 3	
1280 × 720 50p	1280 × 720 50p 960 × 720 50p	SDI Component DVI-D	PC	PC	PAL	720 × 576 50i % 3	
1280 × 720 24p	960 × 720 24p	SDI Component	×	×	×	1280 × 720 24p (REFin のみ)	
1280 × 720 23.98p	1280 × 720 23.98p 960 × 720 23.98p	SDI Component	×	×	×	1280 × 720 23.98p (REFin のみ)	

※1 1920×1080 59.94p に設定可能です。

※2 1920×1080 50p に設定可能です。

※3 フレームペア単位で同期させるため、3値シンクには同期しません。

PC : VGA、SVGA、XGA、SXGAのいずれかに設定可能です。

注1 ComponentとDVI-A(RGB)は排他使用です。

注2 PC系変換モードのDVI-I、DVI-A出力は、P1,P2チャンネルの同期は行えません。

注3 SD解像度にて、アスペクト比が素材とプロファイルで異なる場合は、上下または左右にBar(黒枠)が付加されます。

注4 DVI/RGB出力は、SDI/YPbPr出力とは一定の遅延を伴って出力されます。

GPI 入出力ピン



Pin	Signal		Pin	Signal
1	Output 1		9	Input 1
2	Output 2	-	10	Input 2
3	Output 3		11	Input 3
4	Output 4		12	Input 4
5	Output 5	-	13	Input 5
6	Output 6		14	Input 6
7	NC	-	15	NC
8	共通 Ground		SHELL	共通 Ground

注意

T2は、Output 1-6およびInput 1-6のみに対応しています。Pin 7 およびPin 15は使用しません。

Keyboard Shortcuts

ワークステーションモードではT2本体にキーボードを接続することで以下のショートカットを使用することができます。また、キーボードのアサインを変更することも可能です。

※フロントパネルモードでは当機能を使用できません。

主要ショートカットキー配置



ショートカットキー一覧

Action	Press	備考
Channel select	1 (R1) 2 (P1) 3 (P2)	
Play	L (順方向) J (逆方向) (Stop 中に)Space	
Stop	K (Play 中に)Space	
Record	M	
Fast Forward	•	押す度に増加:x2→4→8→16→32
Rewind	Н	押す度に減少:x-2 → -4 → -8 → -16 → -32
VAR/speed increment	ピリオド (.)	ー度押しで、VAR Play モード。押すたびに、VAR Speed を増加
VAR/speed decrement	コンマ (,)	ー度押しで、VAR Play モード。押すたびに、VAR Speed を減少
Cue to clip-in	A	≤と同じ
Cue to clip-out	S	▶と同じ
Cue to mark-in	Shift+I	Q- と同じ
Cue to mark-out	Shift+O	・Pと同じ
Next frame	→	
Previous frame	←	
Set mark-in	1	
Set mark-out	0	
Clear mark-in/out	Ctrl+I, Ctrl+O	いずれかの操作で、in/out 両方とも Clear する
Сору	Ctrl+C	
Cut	Ctrl+X	
Paste	Ctrl+V	
Select previous item in list	1	PlaylistのEventリスト、BinのContentsリスト
Select next item in list	Ļ	PlaylistのEventリスト、BinのContentsリスト
Scroll to previous page	Page Up	PlaylistのEventリスト、BinのContentsリスト
Scroll to next page	Page Down	PlaylistのEventリスト、BinのContentsリスト
Scroll to top of list	Home	Playlist の Event リスト、Bin の Contents リスト
Scroll to bottom of list	End	Playlistの Event リスト、Binの Contents リスト
Delete current selection	Delete, Backspace	Bin の Contents
Next event	S	と同じ
Previous event	A	▶●と同じ
Delete selected event	Delete, Backspace	Playlist の Event

ファイルインポート対応フォーマット一覧表

format	field	size	frame	R1	P1/P2	Canopus HQ AVI	Quick Time DV	Quick Time DVCPRO HD	Quick Time ProRes	Quick Time H.264	WMV	MPEG2 PS	MPEG2 HDV
SD	Interlace	720x486	59.94i	0	0	0	-	-	0	0	0	-	-
		720x480 (DVD * *)	59.94i	-	-	0	-	-	0	0	0	0	-
		720x480 (DV * *)	59.94i	-	-	0	0	-	0	0	0	-	-
		720x576 (DVD **)	50i	-	-	0	-	-	0	0	0	0	-
		720x576 (DV **)	50i	0	0	0	0	-	0	0	0	-	-
		1920x1080	59.94i	0	0	0	-	-	0	0	0	0	-
		1440x1080	59.94i	0	-	0	-	-	0	0	0	-	0
		1280x1080	59.94i	-	-	0	-	0	0	0	0	-	-
		1920x1080	50i	0	0	0	-	-	0	0	0	0	-
		1440x1080	50i	0	-	0	-	0	0	0	0	-	0
		1280x720	59.94p	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0
	Progressive	960x720	59.94p	-	-	0	-	0	0	0	0	-	-
		1280x720	50p	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0
		960x720	50p	-	-	0	-	-	0	0	0	-	-
HD		1920x1080	24p	⊖ (p∕PsF)	⊖ (p∕PsF)	0	-	-	0	0	0	-	-
		1440x1080	24p	⊖ (p∕PsF)	-	0	-	-	0	0	0	-	-
		960x720	24p	-	-	0	-	-	0	0	0	-	-
		1920x1080	23.98p	⊖ (p∕PsF)	⊖ (p∕PsF)	0	-	-	0	0	0	0	-
		1440x1080	23.98p	⊖ (p∕PsF)	-	0	-	-	0	0	0	-	0
		1280x1080	23.98p	-	-	0	-	-	0	0	0	-	-
		1280x720	23.98p	-	0	0	-	-	0	0	0	0	0
		960x720	23.98p	-	-	0	-	0	0	0	0	-	-
		1280x720	24p			0	-	-	0	0	0	-	-

** 「(DVD)」は、トップフィールドファースト、「(DV)」はボトムフィールドファーストを意味します。

T2 — User Manual (SP2) — ワークステーションモード編 —

Section 4 — APPENDIX